

工 事 番 号							
設計年度	令和5年度	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）  三原市 深町					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 施工延長 L=60.0m 山側控えロープアンカー工 N=9本 本体組立工 一式 法枠工 A=373m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工 N=67本							

仕 様 書

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市深町 急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）に適用する。
  - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
    - ・ **土木工事共通仕様書（令和4年8月）広島版**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>  
・ その他関連規格類

### 第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
  - 広島県工事中情報共有システム  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限

施工内容	資材運搬
時期	全工事期間
時間	9：00～15：00（作業可能時間）
施工方法・理由	搬入路が通学路であるため、登下校時間は工事中車両の通行を行わないこと。

### 第2節 用地

- 1 現場の復旧  
原形復旧とする。

### 第3節 公害対策

- 1 公害防止

施工方法	削孔作業において、小学校が隣接しているため低騒音型機械の使用、また、防音シートを設置するなど騒音対策に努めること。
建設機械・設備	低騒音型機械・防音シート等
作業時間	10時～15時

- 2 事前・事後調査
- |      |  |
|------|--|
| 調査区分 | 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。 |
| 調査区分 | (設計変更の対象とする。)                                    |
| 調査時期 | 施工前・施工中・施工後(1ヶ月以内)                               |
| 調査内容 | 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況                            |
- 3 仮設防護柵
- 本工事において、人力掘削を見込んでいたため仮設防護柵を計上していないが、必要に応じて安全対策を講じ、事故発生の防止に努めること。  
なお、安全対策を行った場合の設計変更については、発注者と受注者が協議するものとする。

#### 第4節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、 「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実」によらず、次のとおり取り扱う。

1 **建設発生土(搬出)** (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。  
また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 **産業廃棄物の場外保管**

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外(建設工事現場以外の場所)において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。  
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

3 **建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成**

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果記載した書面(確認結果票)を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法(平成14年法律第53号)第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合は、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
  1. 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法(昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という)第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第31条第1項の規定による許可を要する場合は、当該許可を受けている。
  2. 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合は、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設副産物に関する事項

4 **運搬業者への通知**

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

- 5 **確認結果票の掲示及び公表**  
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用に公表するよう努めるものとする。
- 6 **確認結果票の保管**  
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 7 **建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求**  
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
  - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
  - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
  - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
  - (4) 建設発生土の搬出量
  - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 8 **建設発生土の搬入元への受領書の交付**  
受注者は建設発生土の利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 9 **受領書の内容確認**  
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 10 **受領書の保管**  
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

#### 第5節 その他

- 1 工事用機資材の仮置き場所  
受注者が責任をもって確保すること。  
なお、借地料が発生した場合においては、受注者が負担すること。
- 2 関係機関・自治体との近接協議  
内容 工事内容や施工時間について、事前に深小学校及び深放課後児童クラブと協議を行うこと
- 3 新技術・新工法・特許工法の指定 ネット系待受工について、次のとおり施工すること。  
内容 斜面崩壊における崩壊土石等の外力に対応できる待受け工として、建設技術審査証明事業（砂防技術）実施要領に基づき、（財）砂防・地すべり技術センターの審査証明を受けた工法とすること。

### 第4章 工事保険等

#### 第1節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

#### 第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
斜面对策		式	1	レベル1
砂防土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	現場制約あり	m3	250	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
法面工		式	1	レベル2
植生工		式	1	レベル3
植生マット	500m2未満	m2	8	レベル4
支柱組立設置工		式	1	レベル3
資機材搬入・搬出工		式	1	レベル4
山側控えロープアンカー工		本	9	レベル4
本体組立工		式	1	レベル4
材料費		式	1	レベル4
法枠工		式	1	レベル3
吹付枠	300×300	m2	373	レベル4
モルタル吹付	高炉 t=8cm	m2	234	レベル4
鉄筋挿入工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

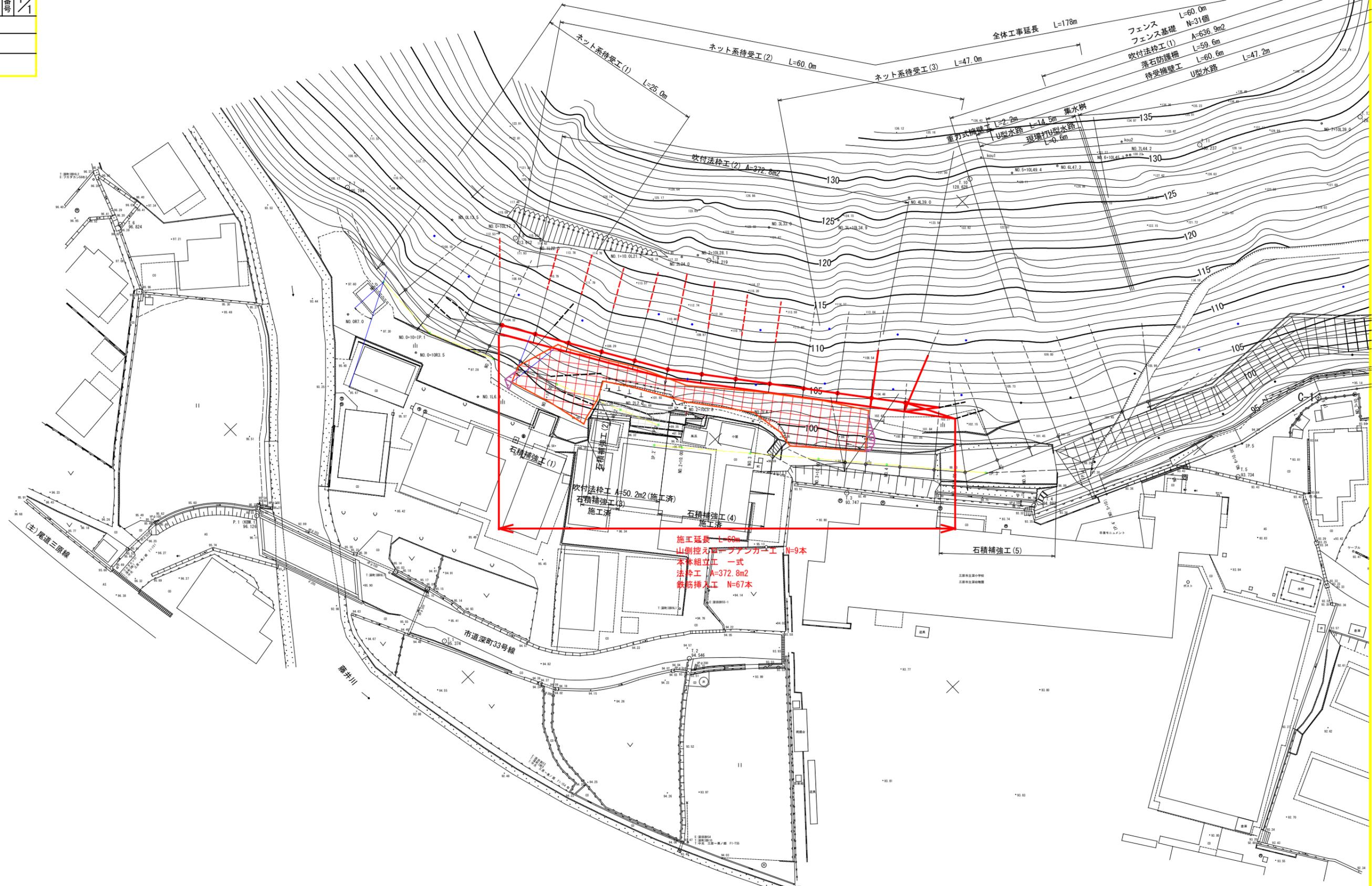
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
鉄筋挿入	SD345 現場条件	m	107	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
足場	安全ネット無し	式	1	レベル4
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	13	レベル4
** 直接工事費 **				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
木根等処分費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

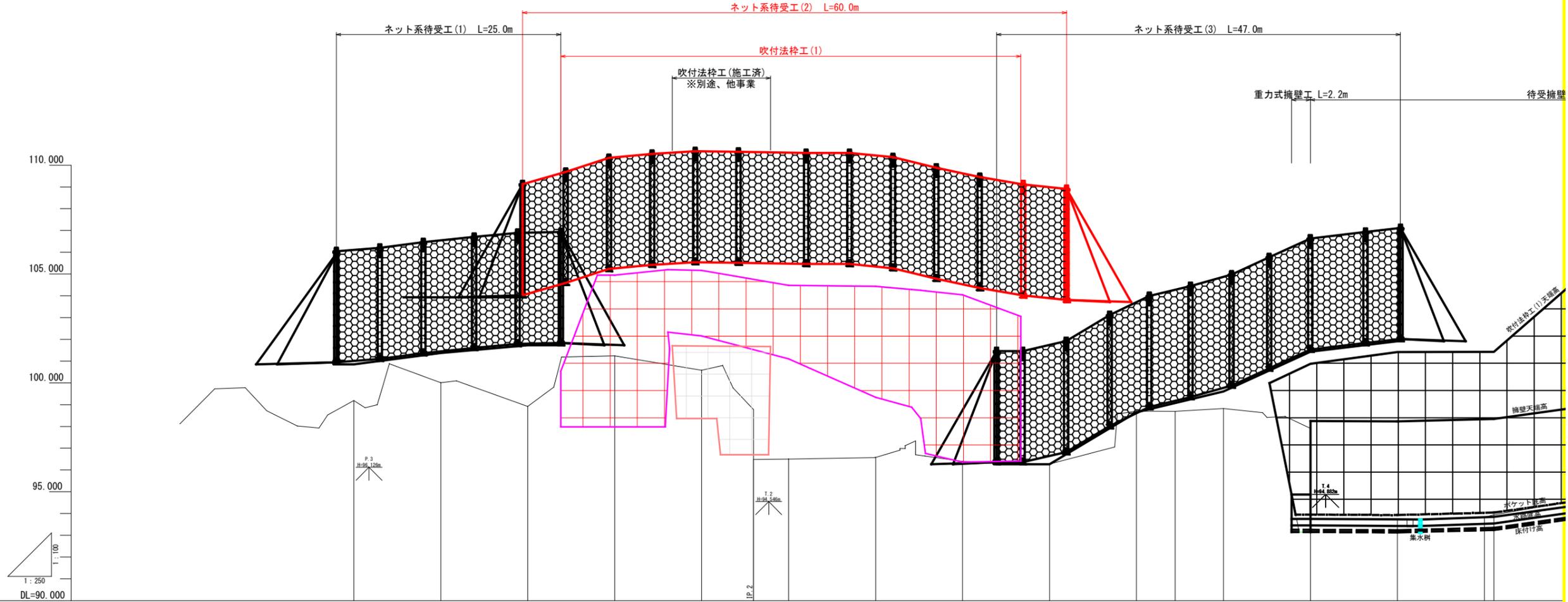
図面番号	1/11	縮尺	S=1:250
工種	急傾斜地崩壊対策工事(深小学校上地区)		
種別	平面図	番号	1/1
路線名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

# 平面図



図面番号	2 / 11	縮尺	V=1:100 H=1:250
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	縦断面図	番号	1 / 1
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

## 縦断面図



擁壁天端高																	98.250	98.230	98.330	98.341
ポケット底高																	93.950	93.930	94.030	94.041
水路底高																	93.450	93.430	93.530	93.541
床付け高																	93.150	93.130	93.230	93.241
地盤高		99.100	100.010	98.920	101.240	100.580	98.720 96.460	96.500	96.580	96.390	96.270	98.700	98.690	98.620	97.910 93.750	93.720	93.820	93.830	93.840	
追加距離		0.000	10.000	20.000	30.000	40.000	45.955	50.000	60.000	70.000	80.000	90.000	94.452	100.000	110.000	120.000	130.000	131.104		
単距離		0.000	10.000	10.000	10.000	10.000	45.955	4.045	10.000	10.000	10.000	10.000	4.452	5.548	10.000	10.000	10.000	1.104		
測点番号		MO.0	MO.0+IP.1	MO.1	MO.1+10.00	MO.2	IP.2	MO.2+10.00	MO.3	MO.3+10.00	MO.4	MO.4+10.00	IP.3	MO.5	IP.4	MO.6	MO.6+10.00	IP.5		

# 標準断面図

図面番号	3 / 11	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	標準断面図	番号	/
路線名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

## 吹付法砕工

NO. 3

GH=96.580  
FH=  
D=10.000

床掘り余裕幅  
プレキャスト製品等の場合

掘削面の高さ	余裕幅
1m未満	構造物端から30cmとすることができる。

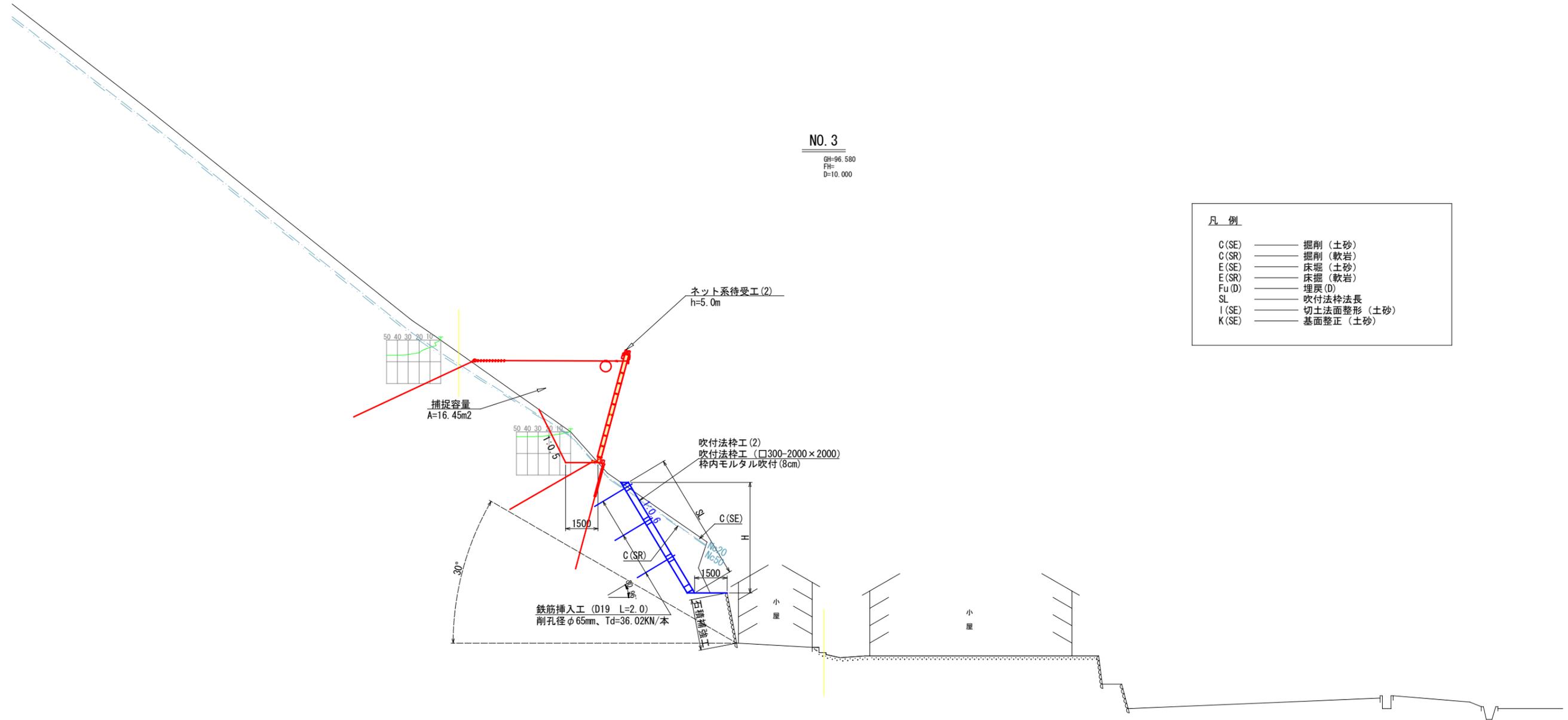
埋戻し

埋戻し種別	埋戻し幅	埋戻し種別	埋戻し幅
A	W2 ≥ 4m	C	1m ≤ W1 ≤ 4m, W2 < 1m
B	W1 ≥ 4m, W2 < 1m	D	W1 ≤ 1m, W2 < 1m

W1: 最大埋戻し幅  
W2: 最小埋戻し幅

凡例

C (SE)	掘削 (土砂)
C (SR)	掘削 (軟岩)
E (SE)	床掘 (土砂)
E (SR)	床掘 (軟岩)
Fu (D)	埋戻し (D)
SL	吹付法砕工長
I (SE)	切土面整形 (土砂)
K (SE)	基面整形 (土砂)



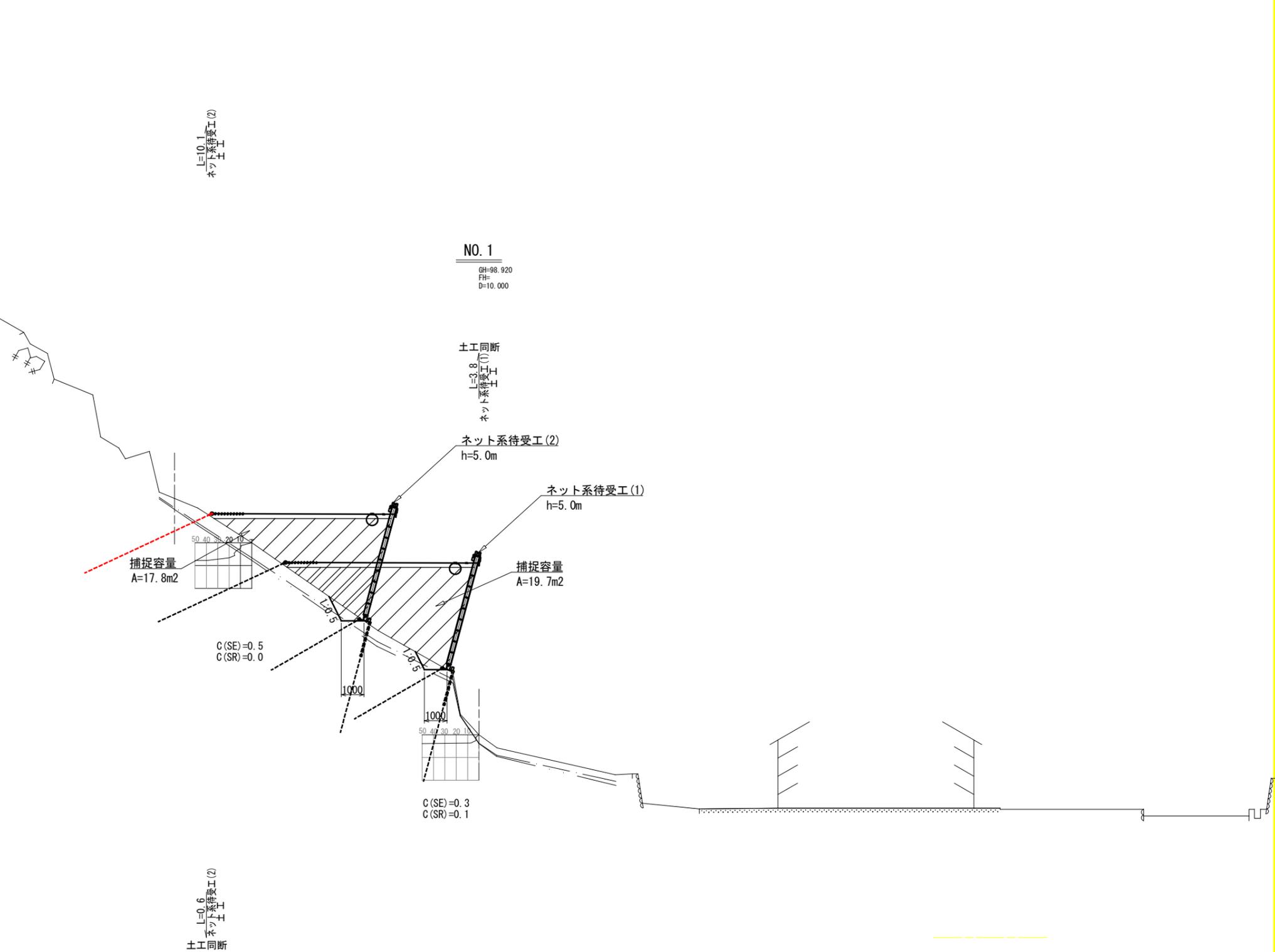
DL=90.000

# 横断図 (1/7)

図面番号	4 / 11	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	横断図	番号	1 / 7
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

NO. 1

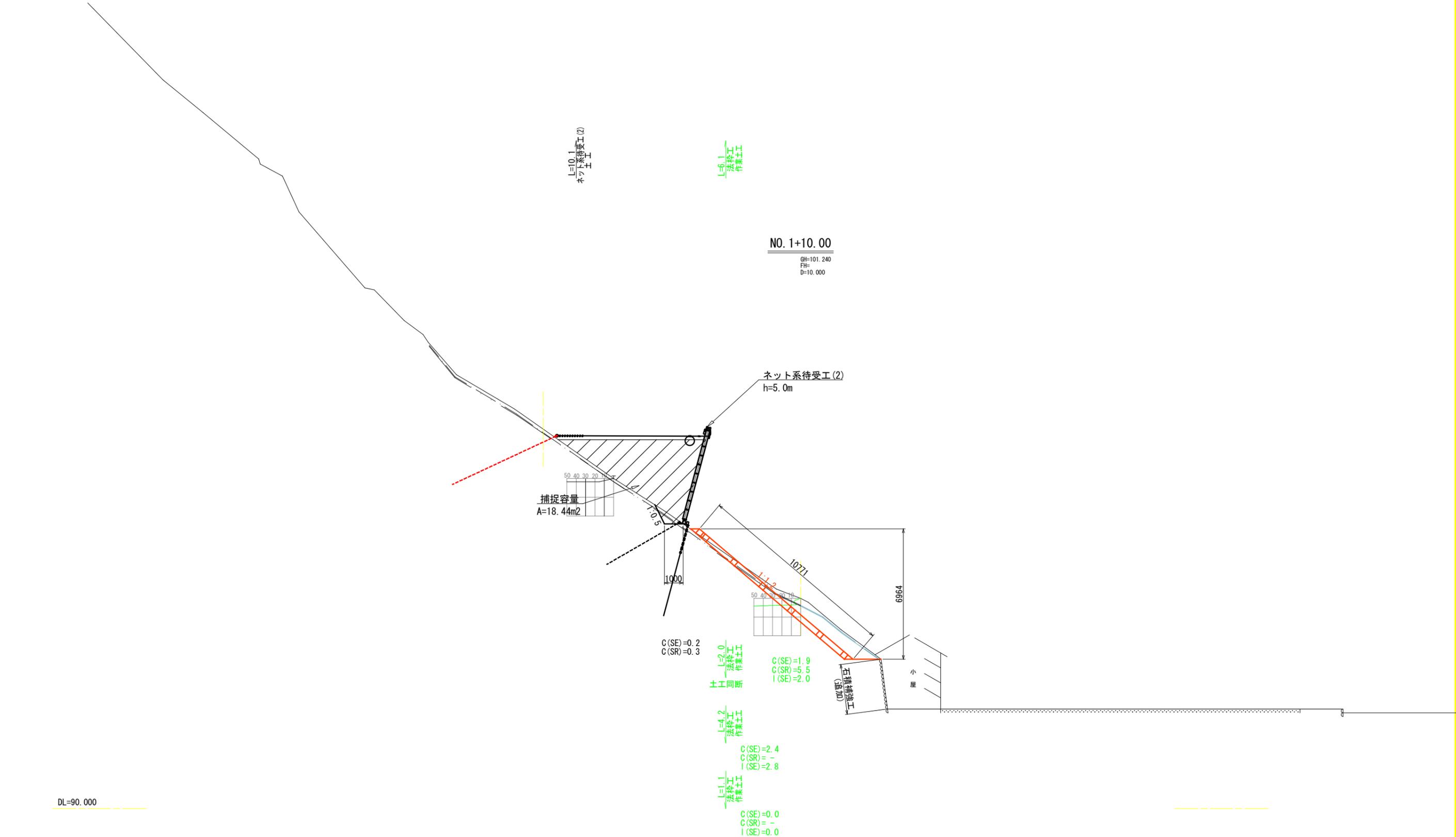
DL=90.000



# 横断図 (2/7)

図面番号	5 / 11	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	横断図	番号	2 / 7
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

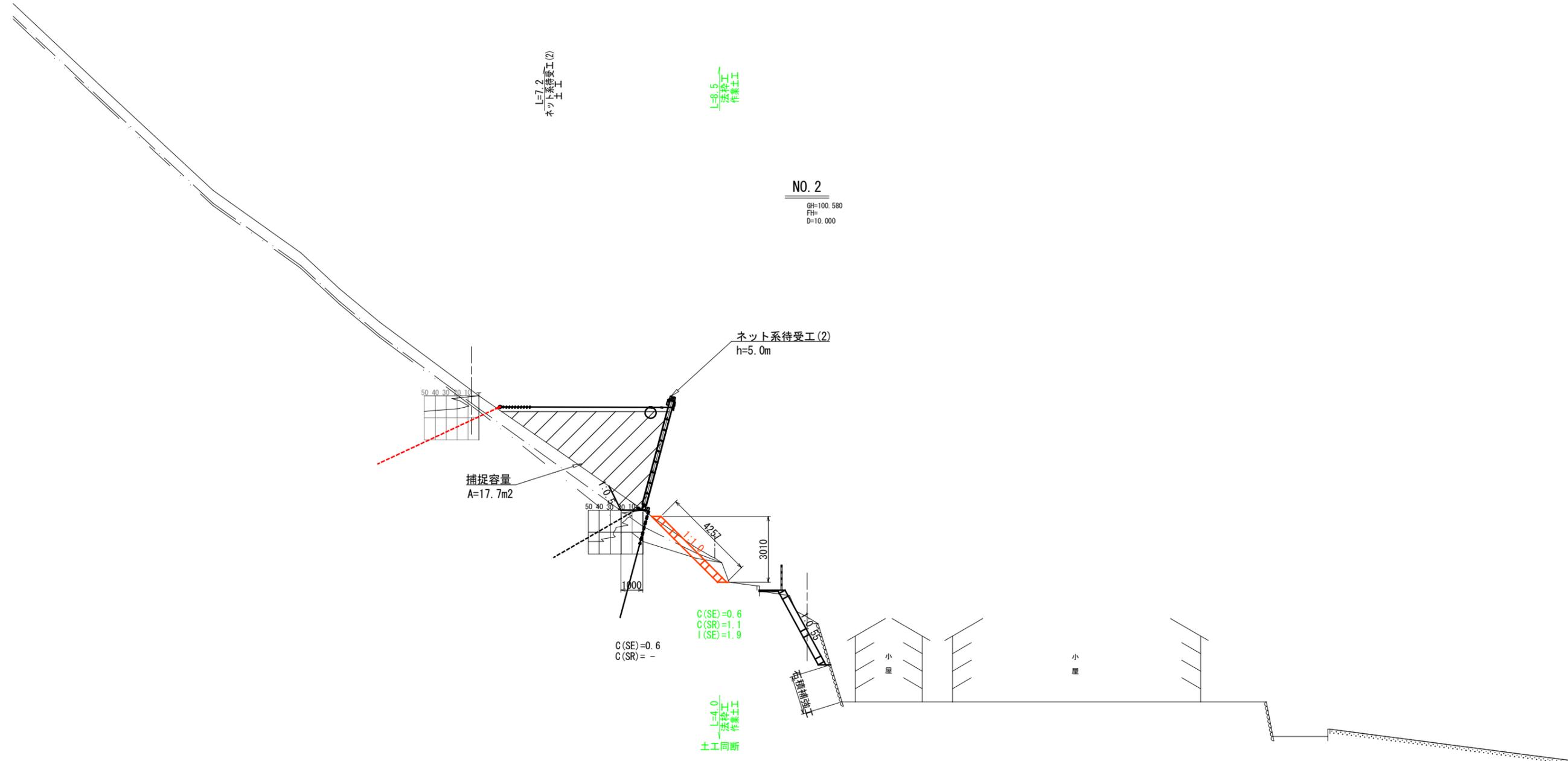
NO. 1+10.00



# 横断図 (3/7)

図面番号	6 / 11	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	横断図	番号	3 / 7
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

NO. 2

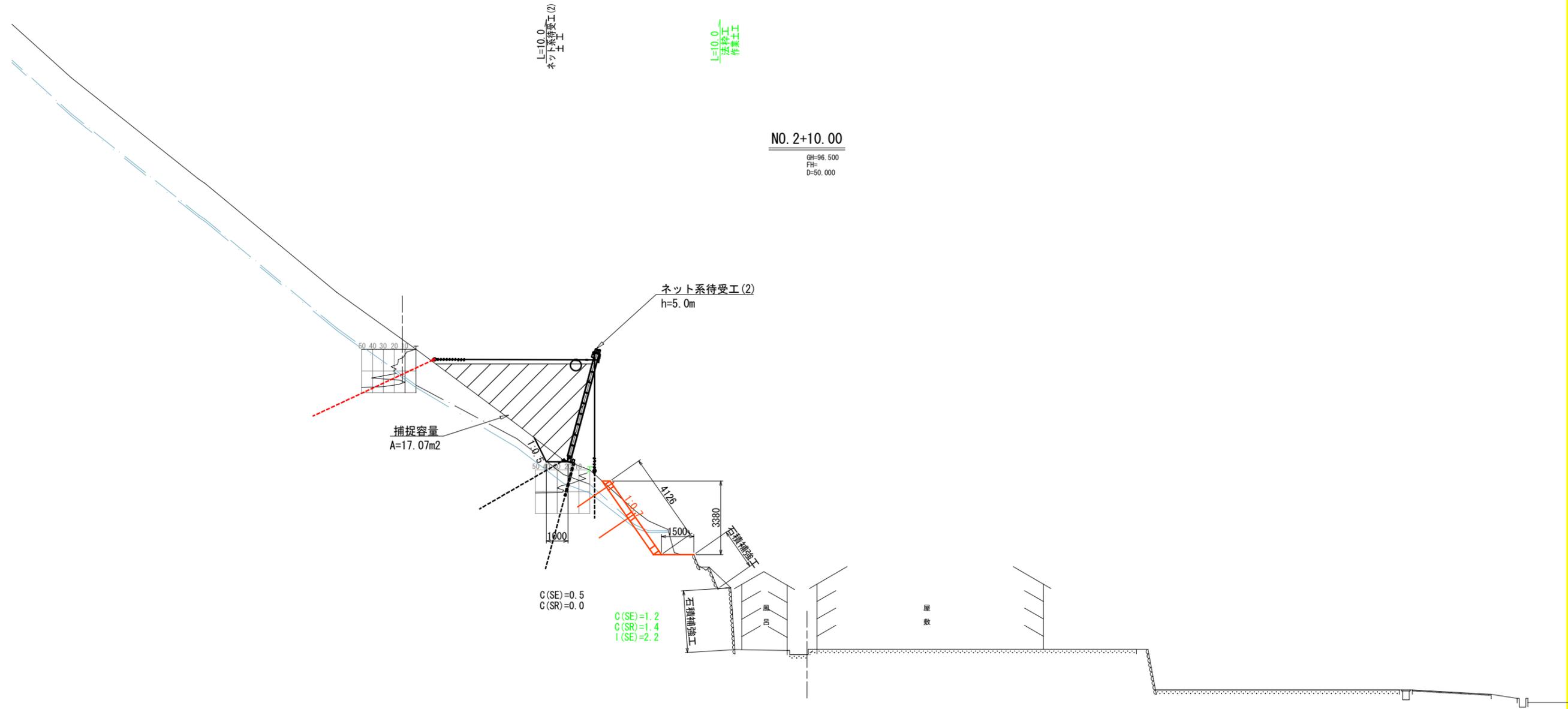


DL=90.000

# 横断図 (4/7)

図面番号	7/11	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	横断図	番号	4/7
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

NO. 2+10.00



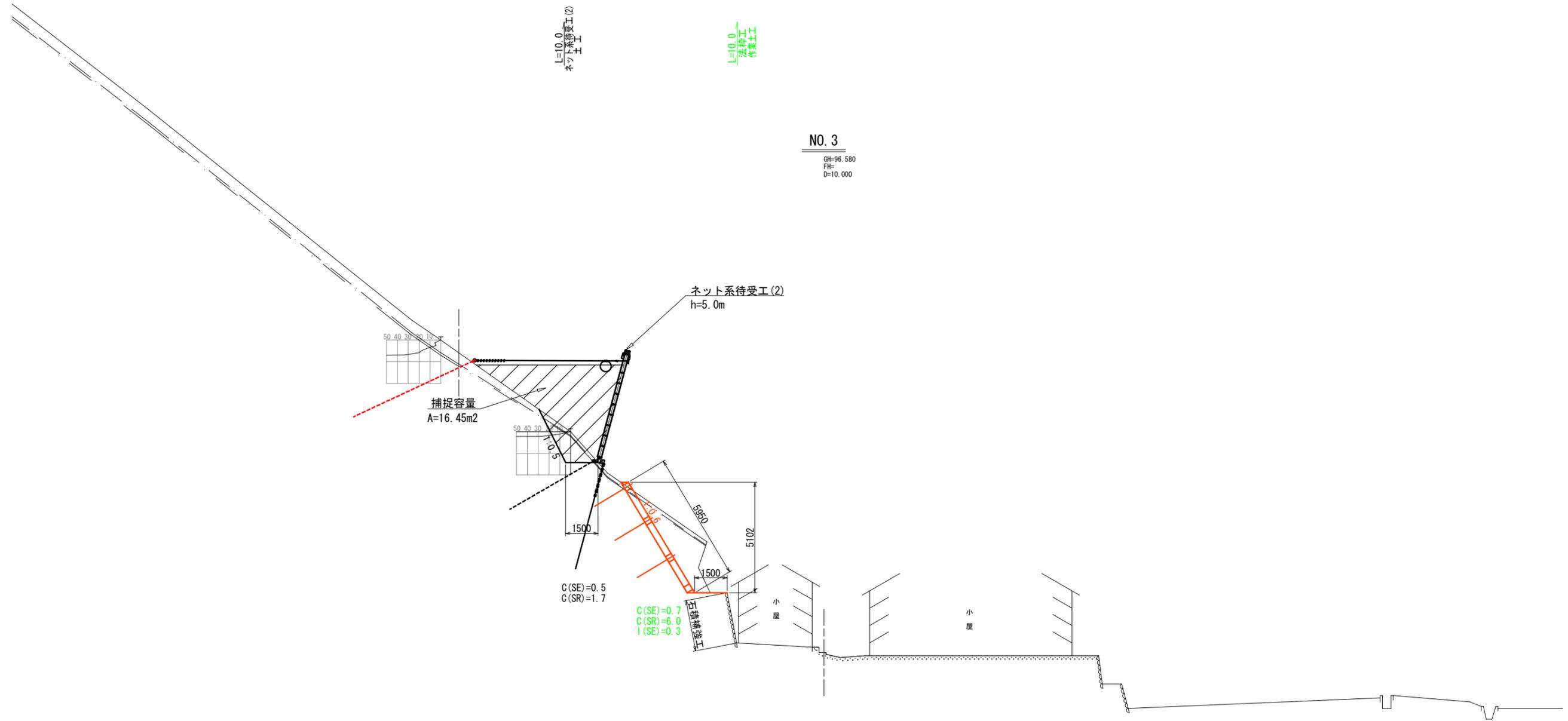
NO. 2+10.00

GH=96.500  
FH=  
D=50.000

# 横断図 (5/7)

図面番号	8/11	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	横断図	番号	5/7
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

NO. 3



L=10.0  
ネット系待受工(2)

L=10.0  
法面工  
作業工

NO. 3

GH=96.580  
FH=  
D=10.000

ネット系待受工(2)  
h=5.0m

捕捉容量  
A=16.45m²

C(SE)=0.5  
C(SR)=1.7

C(SE)=0.7  
C(SR)=6.0  
I(SE)=0.3

石積構造工

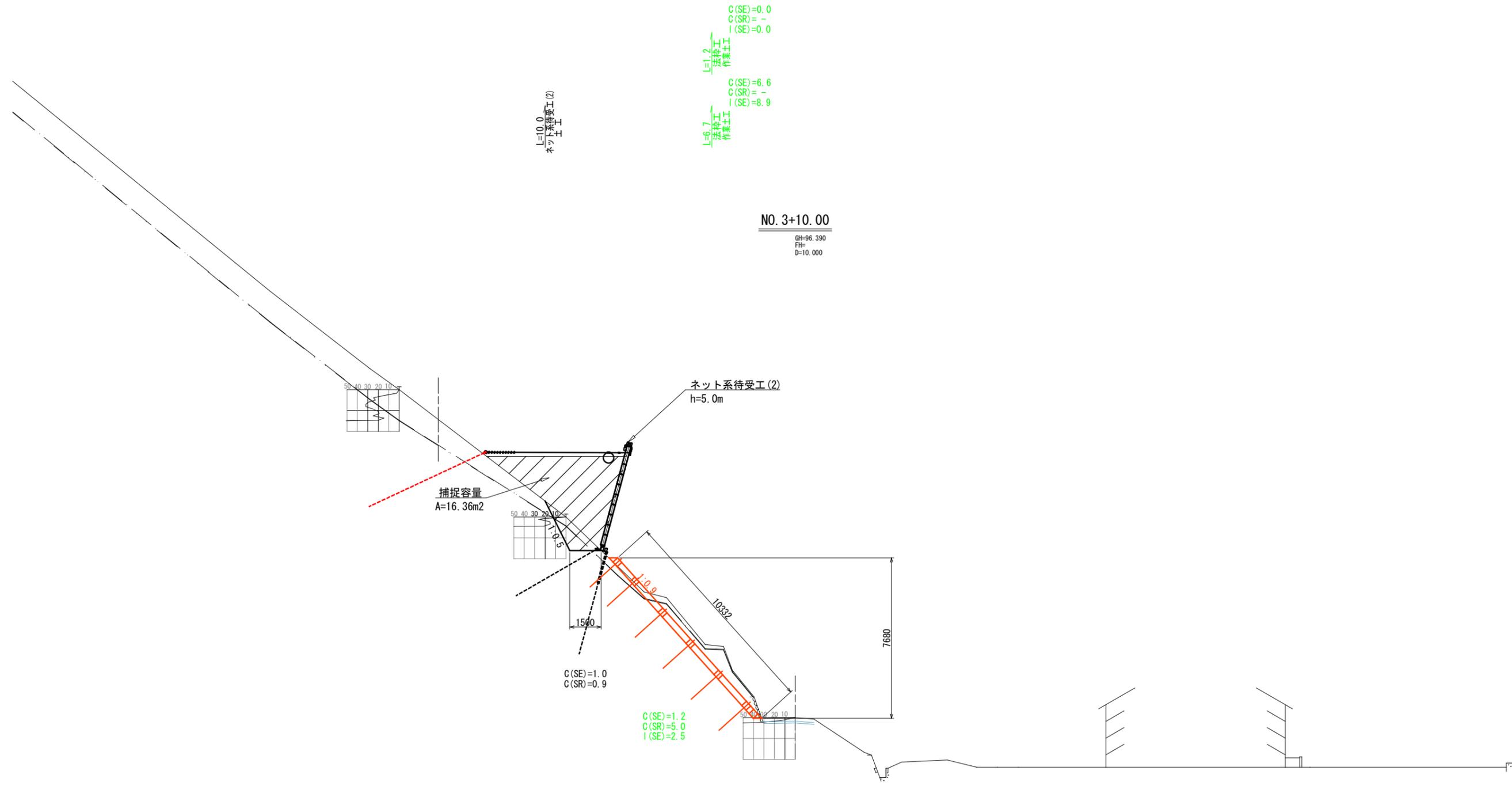
小屋

小屋

# 横断図 (6/7)

図面番号	9 / 11	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	横断図	番号	6 / 7
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

NO. 3+10.00

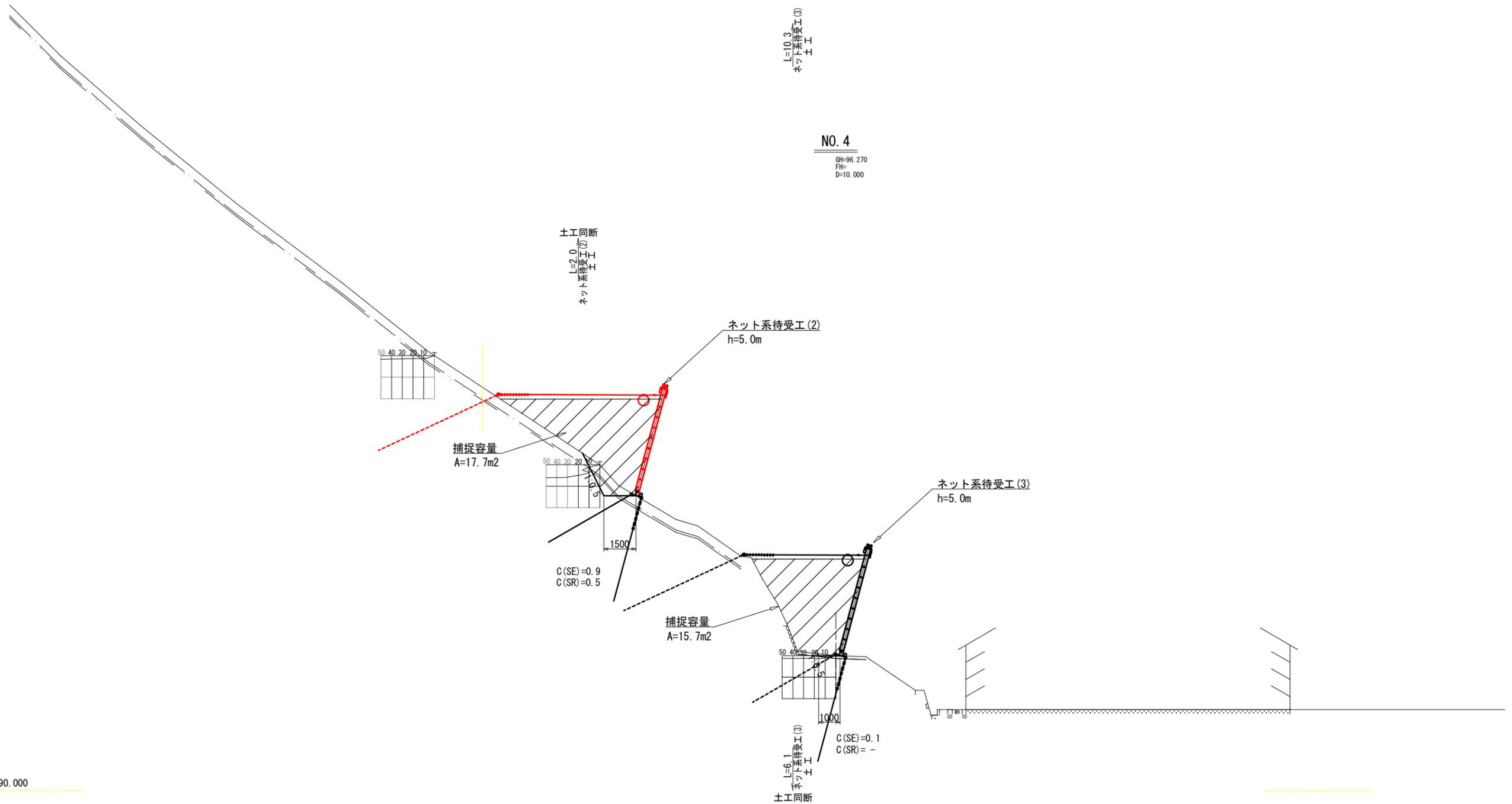


NO. 3+10.00  
GH=96.390  
FH=  
D=10.000

# 横断図 (7/7)

図面番号	10 / 11	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	横断図	番号	7/7
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

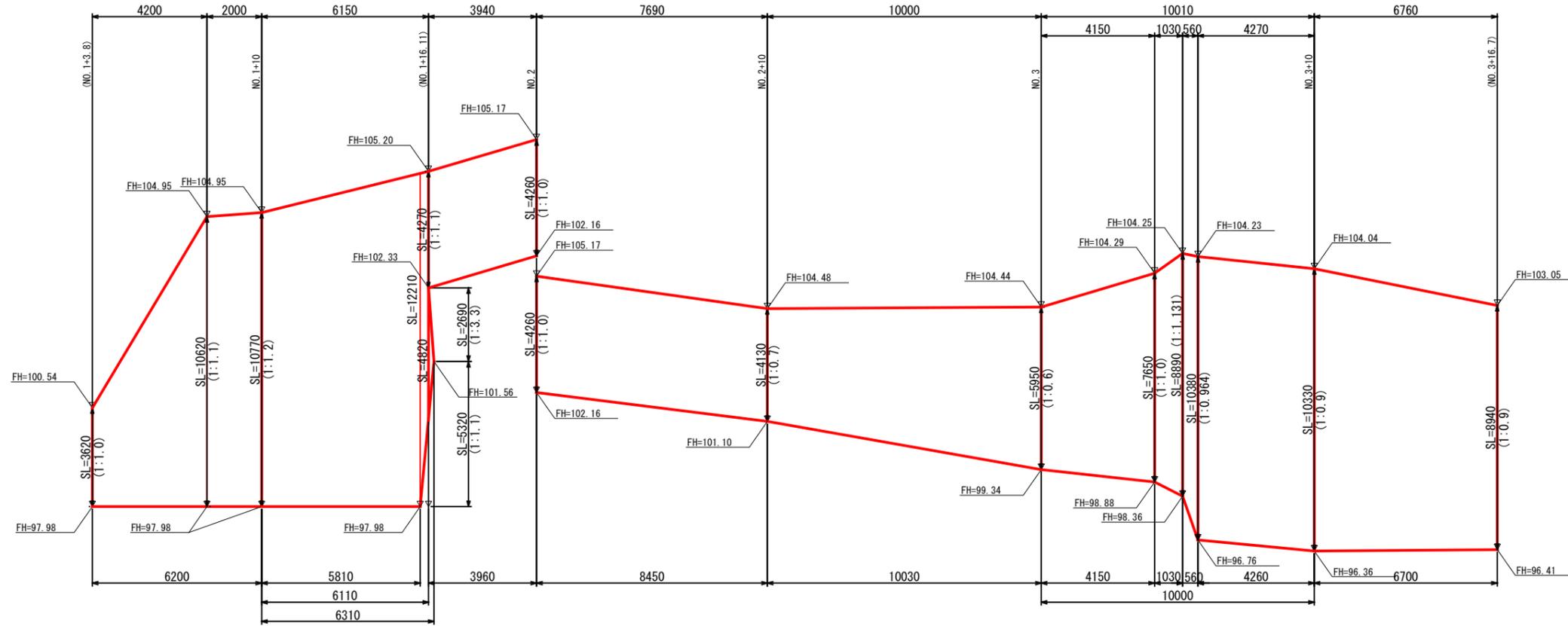
NO. 4



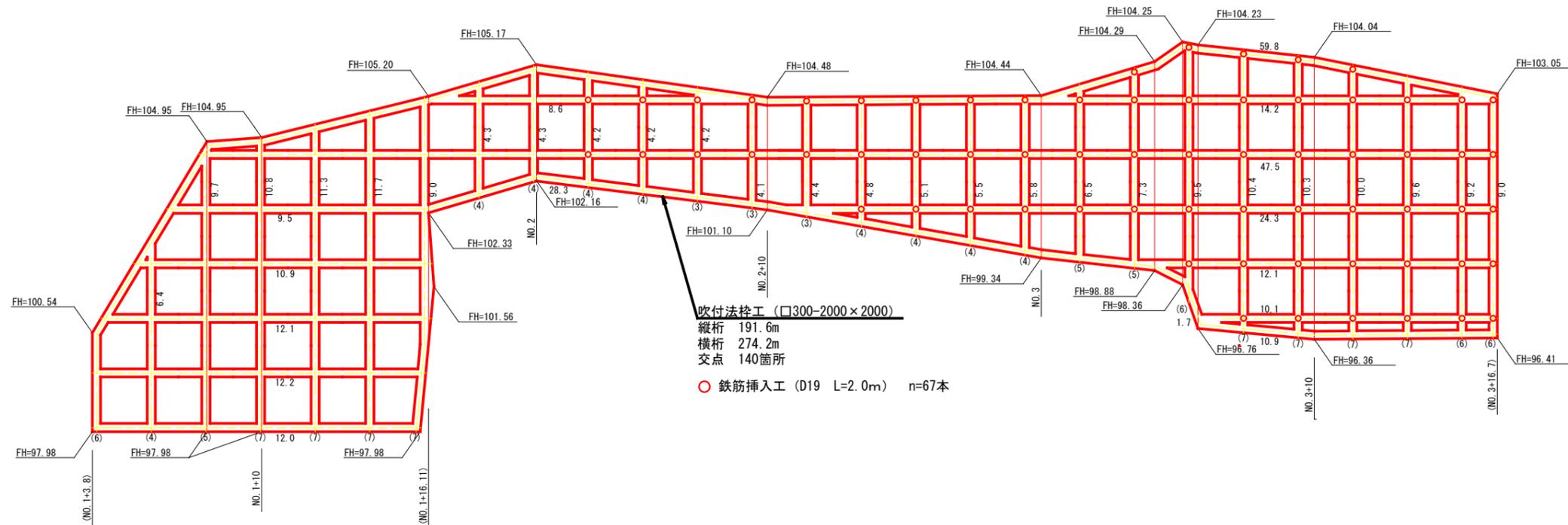
図面番号	11 / 11	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	吹付法砕工 (2) 展開図		
路線名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

NO. 1+3.8~NO. 3+16.7

## 吹付法砕工 (2) 展開図



DL=90.000



吹付法砕工 (□300-2000×2000)

縦桁 191.6m

横桁 274.2m

交点 140箇所

○ 鉄筋挿入工 (D19 L=2.0m) n=67本

# 参 考 资 料

—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-05.06.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 07 砂防・地すべり等工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
砂防土工	1	式			Y1D0301 レベル2
掘削工	1	式			Y1D030101 レベル3
掘削 現場制約あり	250	m3			Y1D03010101 レベル4
掘削 土砂 現場制約あり	80	m3			SPK22040001 00 単第0 -0001 表
掘削 軟岩 現場制約あり 軟岩(1)	170	m3			SPK22040001 00 単第0 -0002 表
残土処理工	1	式			Y1D030109 レベル3
人力運搬 換算距離20m以下	250	m3			Y1A01020109 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
費目・工種・施工名称など 人力運搬（運搬～取卸し） 換算距離20m以下	250	m3			SPK22040023 00  単第0 -0003 表
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	250	m3			SPK22040007 00  単第0 -0004 表
土砂等運搬 小規模 土砂 DID区間有り 距離9.0km以下(7.0km超)	250	m3			Y1D03010902レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離9.0km以下(7.0km超)	250	m3			SPK22040002 00  単第0 -0005 表
残土等処分	250	m3			Y1D03010903レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 土砂	80	m3			F000000100 00
受入費 軟岩	170	m3			F000000200 00
法面工	1	式			Y1D0303 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
植生工					Y1D030301 レベル3
	1	式			
植生マット 500m2未満					Y1D03030106 レベル4
	8	m2			
植生マット工 [規]500m2未満					SS000277 00
	8	m2			単第0 -0006 表
支柱組立設置工					Y1D030302 レベル3
	1	式			
資機材搬入・搬出工					Y1L06081601 レベル4
	1	式			
資機材搬入・搬出工					V000000100 00
	1	式			単第0 -0007 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音					KR006015 00
	1	日			
山側控えロープアンカー工					Y1A01010101 レベル4
	9	本			
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 115m 二重管エア-削孔 レキ質土					V000000300 00
	11	m			単第0 -0008 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 115m 二重管エア削孔 軟岩	35	m			V000000400 00 単第0 -0009 表
注入打設工	2	m <sup>3</sup>			V000000700 00 単第0 -0010 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 PC鉋線より線 設計荷重400KN未満	1	本			V000000500 00 単第0 -0011 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 PC鋼より線 設計荷重400KN以上1300KN未満	8	本			V000000600 00 単第0 -0012 表
耐荷試験工（山側・谷側反力体）	9	本			V000000800 00 単第0 -0013 表
ボーリングマシン移設工	1	回			V000001000 00 単第0 -0014 表
本体組立工	1	式			Y1A01010101レベル4
支柱組立設置工 柵高=5.0m	2	箇所			V000001100 00 単第0 -0015 表
山側控えロープ工	3	本			V000001200 00 単第0 -0016 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
傾角拘束ロープ工					V000001300 00
	2	本			単第0 -0017 表
ネット高さ保持ロープ・緩衝装置設置ロープ					V000001400 00
	8	本			単第0 -0018 表
材料費					Y1A01150411レベル4
	1	式			
材料費					V000000200 00
	1	式			単第0 -0019 表
法枠工					Y1D030303 レベル3
	1	式			
吹付枠 300×300					Y1D03030303レベル4
	373	m2			
ラス張工 [規]250m2以上500m2未満					SS000187 00
	373	m2			単第0 -0020 表
吹付枠工 梁断面_300×300 [規]250m以上500m未満					SS000185 00
	424	m			単第0 -0021 表
モルタル吹付 高炉 t=8cm					Y1A01071401レベル4
	234	m2			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル吹付工(枠内吹付) 厚8cm [規]250m2未満	234	m2			SS000267 00 単第0 -0022 表
水切りモルタル・コンクリート	4	m3			TS967 00
鉄筋挿入工	1	式			Y1D010507 レベル3
鉄筋挿入 SD345 現場条件	107	m			Y1D01050701 レベル4
鉄筋挿入工 現場条件II [規]100m以上200m未満	67	本			SS000259 00 単第0 -0023 表
削孔機械の上下移動	5	回			SS000261 00 単第0 -0025 表
仮設工	1	式			Y1D0310 レベル2
足場工	1	式			Y1A041201 レベル3
足場 安全ネット無し	830	掛m2			Y1A01070904 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 単管足場	830	掛m2			S0380 00 単第0 -0026 表
交通管理工	1	式			Y1D031021 レベル3
交通誘導警備員	13	人			Y1D03102101 レベル4
交通誘導警備員B	13	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
準備費					Z0005
準備費	1	式			YZZ05 レベル2
準備費	1	式			YZZ05001 レベル3
木根等処分費	1	式			YZZ05001001 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伐木・伐竹(伐木除根) 伐木(中)(10本/100m2以上50本/100m2未満)	400	m2			SPK22040171 00  単第0 -0027 表
集積(人力施工)(伐木除根)	400	m2			SPK22040175 00  単第0 -0028 表
運搬(伐木除根) 人力施工 DID区間有り 距離22.0km以下(18.0km超)	400	m2			SPK22040177 00  単第0 -0029 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
受入費 伐採木	30	m3			F000000400 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**工事原価**					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**工事費計**					
**契約保証費計**					



# 施工単価表

掘削  
軟岩 現場制約あり

SPK22040001

単第0 -0002 表

機械構成比: 2.34% 労務構成比: 96.10% 材料構成比: 1.56% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 9,703.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量5.0m3/min圧力0.7MPa	1.86%		空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量5.0m3/min圧力0.7MPa		MTPC00059 MTPT00059
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.46%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	66.22%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	28.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.55%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001







# 施工単価表

土砂等運搬

SPK22040002

単第0 -0005 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離9.0km以下(7.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 25.82% 労務構成比:

62.21% 材料構成比: 11.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,611.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.82%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	62.21%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.97%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=39 距離9.0km以下(7.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		





# 施工単価表

削孔工

V000000300

単第0 -0008 表

ロータリーパーカッションスキッド

115m 二重管エア削孔 レキ質土

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.86	人			
特殊作業員	0.86	人			
普通作業員	1.72	人			
ボーリングマシン ロータリーパーカッション式・スキッド型 55kW級	0.86	日			
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量10.5~11m3/min圧力0.7MPa	0.86	日			
シャンクロッド 118mm アンカー用	0.04	本			
クリーニングアダプタ 118mm アンカー用	0.03	個			
エクステンションロッド 118mm アンカー用	0.04	個			
ドリルパイプ 118mm, 1.0m アンカー用	0.20	本			
インナーロッド 118mm, 1.0m アンカー用	0.22	本			
リングビット 118mm アンカー用	0.20	個			
インナービット 118mm アンカー用	0.16	個			



# 施工単価表

頁0 -0021

削孔工

V000000400

単第0 -0009 表

ロータリーパーカッションスキッド

115m

二重管エア-削孔 軟岩

10

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員	2	人			
ボーリングマシン ロータリーパーカッション式・スキッド型 55kW級	1	日			
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量10.5~11m3/min圧力0.7MPa	1	日			
シャンクロッド 118mm アンカー用	0.05	本			
クリーニングアダプタ 118mm アンカー用	0.04	個			
エクステンションロッド 118mm アンカー用	0.05	個			
ドリルパイプ 118mm, 1.0m アンカー用	0.29	本			
インナーロッド 118mm, 1.0m アンカー用	0.34	本			
リングビット 118mm アンカー用	0.24	個			
インナービット 118mm アンカー用	0.16	個			



# 施工単価表

注入打設工

V000000700

単第0 -0010 表

頁0 -0023

10

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	17	人			
特殊作業員	17	人			
普通作業員	34	人			
諸雑費	23	%			#01
セメント(袋) 早強ポルトランド 25kg/袋	12.3	t			
混和剤 マスターレオビルド4000	246	L			
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

















# 施工単価表

材料費

V000000200

単第0 -0019 表

頁0 -0032

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
支柱アッセンブリー H=5.0m (H-200)	2	組			
リプレイスロープ G22mm×L=1.5m 両端シンプル加工 ブレーキリング:GN-9017 1個付属	2	本			
上部サポートロープ G22mm×L=73.0m 一端シンプル加工	1	本			
上部サポートロープ G22mm×L=78.0m 一端シンプル加工	1	本			
リプレイスロープ G22mm×L=1.5m 両端シンプル加工 ブレーキリング:GN-9017 1個付属	2	本			
下部サポートロープ G22mm×L=68.5m 一端シンプル加工	1	本			
下部サポートロープ 22mm×L=73.5m 一端シンプル加工	1	本			
ラテラルロープ 18mm×L=8.5m 一端500mmループ加工	1	本			
ラテラルロープ 18mm×L=11.0m 一端500mmループ加工	1	本			
リテイニングロープ 20mm×L=10.0m 一端500mmループ加工 ブレーキリング:GS-8002 1個付属	2	本			
ワイヤクリップ FF-C-450 3/4"	16	個			
ワイヤクリップ FF-C-450 7/8"	24	個			

# 施工単価表

材料費

V000000200

単第0 -0019 表

頁0 -0033

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
シャックル NG1"	8	個			
シンプル G22mm用	4	個			
端末リテイニングロープアンカー 18.5mm×2 L=4m	1	個			
中間リテイニングロープアンカー 22.5mm×2 L=5m	4	本			
中間リテイニングロープアンカー 22.5mm×2 L=6m	2	本			
中間リテイニングロープアンカー 22.5mm×2 L=5m	2	本			
孔壁保護管 60mmメッシュ管	51	本			
スペーサー	27	個			
リテイニングロープ 22mm×L=9.5m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GS-8002 1個付属	1	本			
*** 単位当たり ***	1	式			







# 施工単価表

鉄筋挿入工  
現場条件II

SS000259  
[規]100m以上200m未満

単第0 -0023 表

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋挿入工 現場条件2【手間のみ】 削孔時足場：単管足場・土足場	1.600	m			
異形棒鋼ロックボルト D19,SD345(めっき付き)	2.000	m			
角座金 150×150×9mm, 45(めっき付き)	1.000	枚			
ワッシャー D19用,D22用,D25用(めっき付き)	1.000	個			
スペーサー D19用,D22用,D25用(めっき付き)	2.000	個			
ナット D19用(めっき付き)	1.000	個			
頭部キャップ 防錆材含む	1.000	個			
グラウト注入材	0.007	m3			単第0-0024 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	本			
A=2 現場条件II D=2 鋼材の長さ(m) F=1.6 削孔長(m/本)			B=1 異形棒鋼ロックボルト_D19,SD345 E=65 削孔径(mm) G=1 角座金(めっき付)		
I=1 ワッシャー(めっき付) M=1 ナット(めっき付) Q=3 材料別途			K=1 スペーサー(めっき付) O=1 頭部キャップ(防錆材含む) S=1 -		







# 施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場  
単管足場

S0380

単第0 -0026 表

100 掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			
とび工	6.300	人			
普通作業員	1.600	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.800	日			
諸雑費	32	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=2 単管足場 C=0 潮待割増			B=1	安全ネットを設置しない	

# 施工単価表

伐木・伐竹(伐木除根)

SPK22040171

単第0 -0027 表

伐木(中)(10本/100m2以上50本/100m2未満)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

107.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	57.24%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	21.26%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	12.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 伐木(中)(10本/100m2以上50本/100m2未満)			B=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

運搬(伐木除根)

SPK22040177

単第0 -0029 表

人力施工

DID区間有り 距離22.0km以下(18.0km超)

1

m2 当り

機械構成比: 21.05% 労務構成比:

70.08% 材料構成比: 8.87% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 12.80500

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	21.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.08%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.87%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 人力施工 D=56 距離22.0km以下(18.0km超)			C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)		

# 数量総括表

—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

## 本工事(付帯工事)費内訳表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計上数量	摘 要
本工事費								
	土 工							
		掘削工						
			掘削	土砂 現場制約あり	m3	80.9	80	
			掘削	軟岩 I 現場制約あり	m3	166.5	170	
		残土処理工						
			人力運搬	20m以下	m3	247.4	250	
			積込(ルーズ)	小規模	m3	247.4	250	
			土砂等運搬	小規模	m3	247.4	250	
			受入費	土砂	m3	80.9	80	
			受入費	軟岩	m3	166.5	170	
	法 面 工							
		植生工						
			植生マット	500m2未満	m2	8.1	8	
		支柱組立設置工						
			資機材搬入・搬出工		日	1	1	
			ラフテレーンクレーン	16t	日	1	1	
		山側控えロープアンカー工						
			削孔工	φ115・レキ質土	m	11.0	11.0	
			削孔工	φ115・軟岩	m	35.0	35.0	
			注入打設工		m3	1.530	2.0	
			アンカー鋼材組立・加工・挿入工	PC鋼線より線(設計荷重400KN未満)	本	1.0	1.0	
			アンカー鋼材組立・加工・挿入工	PC鋼線より線 設計荷重400KN以上1300KN未満	本	8.0	8.0	
			耐荷試験工	山側・谷川反力体	本	9.0	9.0	
			ボーリングマシン移設工		回	1.0	1.0	
		本体組立工						
			支柱組立設置工		箇所	2.0	2.0	
			山側控えロープ工		本	3.0	3.0	
			傾角拘束ロープ		本	2.0	2.0	
			ネット高さ保持ロープ・緩衝装置設置ロープ		本	8.0	8.0	
		法枠工						
			ラス張工		m2	372.8	373.0	
			吹付枠工	300×300	m	423.8	424.0	
		モルタル吹付						
			枠内吹付	t=8cm	m2	233.6	234.0	
			水切りモルタル		m3	3.7	4.0	



レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 土工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単	数量区分		合計					内訳数量表 別紙	備 考
掘削工			式	m3									
	掘削(土砂)		m3	m3	合 計		80.9	80.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
					片切部	砂・砂質土	0.0						
						粘性土	0.0						
						礫質土	80.9	80.9					
						岩塊・玉石	0.0						
	掘削(軟岩)		m3	m3	合 計		166.5	166.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
					片切部	軟岩1	166.5	166.5					
						軟岩2	0.0						
法面整形工			式	m2									
	法面整形(切土部)		m2	m2	合 計		130.6	130.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
					機械	砂・砂質土、粘性土、レキ質土	0.0						
						軟岩1	0.0						
					人力	砂・砂質土、粘性土、レキ質土	130.6	130.6					
						軟岩1、軟岩2、中硬岩以上	0.0						
残土処理工			式	m3									
	残土処理		m3	m3	合 計		247.4	247.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
						砂・砂質土	0.0						
						粘性土	0.0						
						レキ質土	80.9	80.9					
						軟岩	166.5	166.5					
						硬岩	0.0						
						岩塊・玉石	0.0						

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 法面工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単	数 量 区 分						合計					内訳数量表 別紙	備 考	
法枠工			式	m2														
	法枠工(2) (吹付枠)	□300-2000×2000 モルタル吹付t=8cm	m2	m2	合 計						372.8	372.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
					コンクリート吹付、梁断面300×300	H≤40m					372.8	372.8					1-1	H:法面の垂直高
						40m<H					0.0							
アンカー工			式	本														
	鉄筋挿入工(2)	鉄筋径D19 削孔長L=1.6m 削孔径φ65	m	m	合 計						107	107	0	0	0	0		
					現場条件I	1m≤L≤5m 42mm≤φ≤65mm	H≤30m				0						1-2	L:削孔長,φ:削孔径,H:法面の垂直高
					現場条件II	1m≤L≤5m 42mm≤φ≤65mm	H≤40m				107	107						注)現場条件I~IIIが適用できない
					現場条件III	1m≤L≤2m 42mm≤φ≤50mm	H≤40m				0							場合は、数量区分を設定し、計上
					注)						0							すること。
植生工			式	m2														
	植生マット	[肥料袋の有無]	m2	m2	合 計						8.1	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
					[種子配合]						8.1	8.1						
											0.0							
											0.0							

1-1 法枠工(2) 数量表

内訳数量表1

梁断面サイズ、吹付材種類、モルタル及びコンクリート吹付厚(枠内)、植生基材吹付厚(枠内):

372.8 m2当り

項目	規格	数量区分			単位	数量		備考
						全体	1m2当り	
吹付枠	□300-2000×2000	コンクリート吹付			m		0.0	
		モルタル吹付			m	423.8	1.1	
ラス張	φ2.0-5.0				m2	372.8	1.0	
枠内モルタル吹付	t=8cm	H≤40m			m2	233.6	0.6	
		40m<H			m2		0.0	
水切モルタル					m3	3.7	0.010	

1-2 鉄筋挿入工(2) 数量表

鉄筋規格、削孔長:

107 m当り

項目	規格	数量区分			単位	数量		備考
						全体	1m当り	
鉄筋挿入	現場条件Ⅱ	削孔径(mm)φ65			m	107.2	1	1箇所当り平均削孔長(m/箇所)=1.6
削孔機械の上下移動					回	5	0.05	
仮設足場設置撤去	W=3.0m				空m3	417.7	3.9	
鉄筋挿入材料費					式	1	1	

## 土量配分

発生土(土砂)

$$\text{掘削} = 80.9 \text{ m}^3$$

$$\text{床掘} = - \text{ m}^3$$

---


$$\text{合計} = 80.9 \text{ m}^3$$

必要土

$$\text{埋戻(D)} = - \text{ m}^3$$

---


$$\text{合計} = 0.0 \text{ m}^3$$

発生土(軟岩)

$$\text{掘削} = 166.5 \text{ m}^3$$

$$\text{床掘} = - \text{ m}^3$$

---


$$\text{合計} = 166.5 \text{ m}^3$$

残土処分

(土砂)      発生土    -    流用土    ×    1/変化率

$$V = 80.9 - 0.0 \times 1/0.9 = 80.9 \text{ m}^3$$

(軟岩)

$$V = 166.5 = 166.5 \text{ m}^3$$

土工集計表(1)

掘削工

種別 場所	掘削(土砂)	掘削(軟岩)			
法枠工(2)	80.9	166.5			
計	80.9 m <sup>3</sup>	166.5 m <sup>3</sup>			

法面整形工

種別 場所	切土法面整形 (土砂)				
法枠工(2)	122.5				
すりつけ部	8.1				
計	130.6 m <sup>2</sup>				

## 掘削工(法枠工(2))

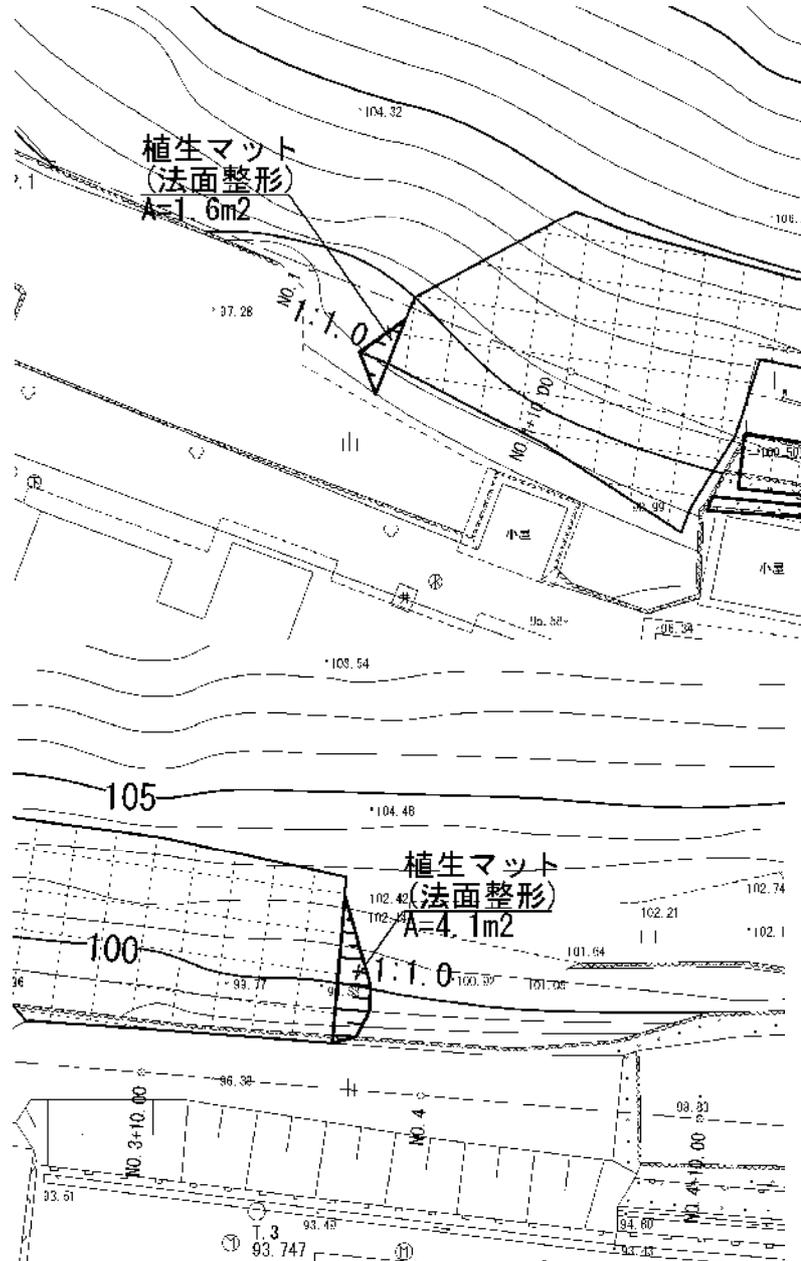
## 計算書

測点	距離	掘削(土砂) C(SE)			掘削(軟岩) C(SR)			摘要
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	
		0.0			0.0			
	1.1	2.4	1.20	1.3	0.0	0.00	0.0	
	4.2	1.9	2.15	9.0	5.5	2.75	11.6	
NO.1+10.00	2.0	1.9	1.90	3.8	5.5	5.50	11.0	
	6.1	0.6	1.25	7.6	1.1	3.30	20.1	
NO.2	4.0	0.6	0.60	2.4	1.1	1.10	4.4	
NO.2+10.00	8.5	1.2	0.90	7.7	1.4	1.25	10.6	
NO.3	10.0	0.7	0.95	9.5	6.0	3.70	37.0	
NO.3+10.00	10.0	1.2	0.95	9.5	5.0	5.50	55.0	
	6.7	6.6	3.90	26.1	0.0	2.50	16.8	
	1.2	0.0	3.30	4.0	0.0	0.00	0.0	
合計				80.9			166.5	



## 植生マット(法面整形)

(すりつけ部)



(切土)法面整形 平面図より

$$A = (1.6 + 4.1) \times 1.414 = 8.1 \text{ m}^2$$

植生マット 平面図より

$$A = (1.6 + 4.1) \times 1.414 = 8.1 \text{ m}^2$$

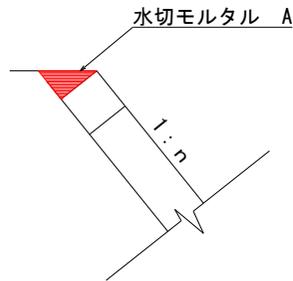


### 吹付枠工

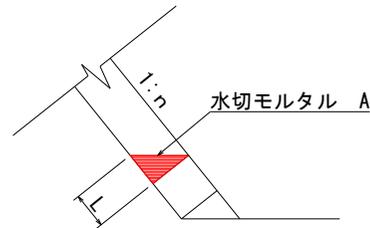
### 数量計算書

種別	規格	算式	単位	単位当り数量	数量	備考
吹付枠	□300	(縦桁) 191.6m (横桁) 274.2m (交点数) 140箇所 ( 191.6 + 274.2 ) - 140 × 0.3 = 423.8m	m		423.8	
ラス張り	φ2.0-5.0	求積表参照	m <sup>2</sup>		372.8	
枠内モルタル吹付	t=8cm	(枠内面積) 372.8 - 423.8 × 0.3 = 245.66m <sup>2</sup> (水切控除) ( 51.2m - 0.3m × 27本 ) × 0.28m = 12.1m <sup>2</sup> 計 245.7m <sup>2</sup> - 12.1m <sup>2</sup> = 233.6m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		233.6	
水切モルタル	1:4	(法肩) 0.04m <sup>2</sup> × 48.2m = 1.93m <sup>3</sup> (最下段) 0.04m <sup>2</sup> × ( 51.2m - 0.3m × 27本 ) = 1.72m <sup>3</sup> (合計) 1.93 + 1.72 = 3.65m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		3.7	

(法肩)



(法尻)



(測点)	勾配	水切面積A	水切法長L
NO.1+3.8	1:1.0	0.05	0.30
NO.1+10	1:1.2	0.05	0.36
NO.1+16.11	1:1.1	0.05	0.33
NO.2	1:1.0	0.05	0.30
NO.2+10	1:0.7	0.03	0.21
NO.3	1:0.6	0.03	0.18
NO.3+10	1:0.9	0.04	0.27
NO.3+16.7	1:0.9	0.04	0.27
平均値		0.04	0.28

第 表

吹付砕工 数量計算書(求積表)

測 点	延 長 (m)	ラス張			測 点	延 長 (m)	法 長 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)	摘 要
		法 長 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)						
NO.1+3.8		3.6								
	4.20	10.6	7.10	29.8						
NO.1+10	2.00	10.8	10.70	21.4						
	5.81	12.2	11.50	66.8						
NO.1+16.11	0.30	9.1	10.65	3.2						
NO.1+16.11		4.8								
	0.20	0.0	2.40	0.5						
NO.1+16.11		4.3								
NO.2	3.94	4.3	4.30	16.9						
NO.2+10	7.69	4.1	4.20	32.3						
NO.3	10.00	6.0	5.05	50.5						
	4.15	7.7	6.85	28.4						
	1.03	8.9	8.30	8.5						
	0.56	10.4	9.65	5.4						
NO.3+10	4.27	10.3	10.35	44.2						
NO.3+16.7	6.76	8.9	9.60	64.9						
計				372.8	計				-	

## 鉄筋挿入工

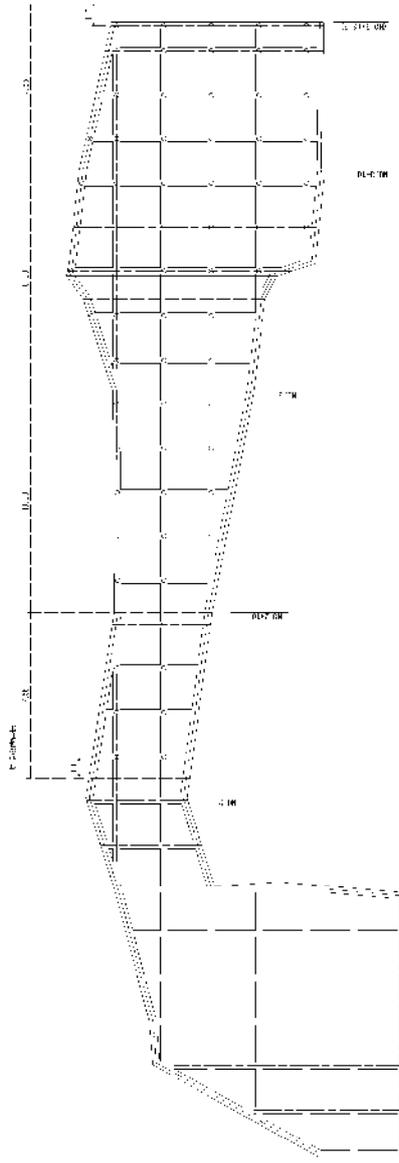
## 数量計算書

種 別	規 格	算 式	単 位	単位当り 数量	数 量	備 考
現場条件Ⅱ	φ65	( ボルト 2.0m - 頭部余長 0.1m - 法面工 0.3m ) × 箇所 67 = 107.20m	m	1箇所当り 1.60	107.2	
削孔機械の 上下移動		施工段数 6.0 段 - 1.0 回 = 5.0 回	回		5	
仮設足場 設置・撤去	W=3.0m	求積表参照	空m3		417.7	
ネジ節異形棒鋼 (メッキ付き)	SD345 D19 2.0m	展開図参照	本	1箇所当り 1	67	
スペーサー	D19-65	本数合計 67.0 × 2.0 = 134 個	個	1箇所当り 2	134	
角座金(メッキ)	150*150*9	補強材本数合計	枚	1箇所当り 1	67	
メッキワッシャー		補強材本数合計	個	1箇所当り 1	67	
メッキコマナット	D19用	補強材本数合計	個	1箇所当り 1	67	
ヘッドキャップ	防錆材	補強材本数合計	個	1箇所当り 1	67	
グラウト材	σ=24N/mm2	1本あたりのグラウト使用量 (π/4×削孔径 <sup>2</sup> /10 <sup>6</sup> )×(削孔長+桁厚)×1.4(ロス率) ( π / 4 × 65 <sup>2</sup> / 10 <sup>6</sup> ) × 127.3 × 1.4 = 0.591	m3		0.6	
セメント	普通 ポルトランド	1230kg/m <sup>3</sup>	kg	1m3当り 1,230	738	
減水剤	マスターレオビルド 4000	減水剤(セメント量C×2%)	ℓ	1m3当り 24.6	14.8	

第 表

鉄筋挿入工 数量計算書(求積表)

測 点	法 長 (m)	仮設足場設置撤去			測 点	延 長 (m)	断 面 (m2)	平 均 (m)	立 積 (空m3)	摘 要
		断 面 (m2)	平 均 (m)	立 積 (空m3)						
NO.2		5.7								
NO.2+10	7.56	7.8	6.75	51.0						
NO.3	10.00	11.3	9.55	95.5						
NO.3+10	10.00	17.8	14.55	145.5						
NO.3+16.7	7.55	15.5	16.65	125.7						
計				417.7	計				-	

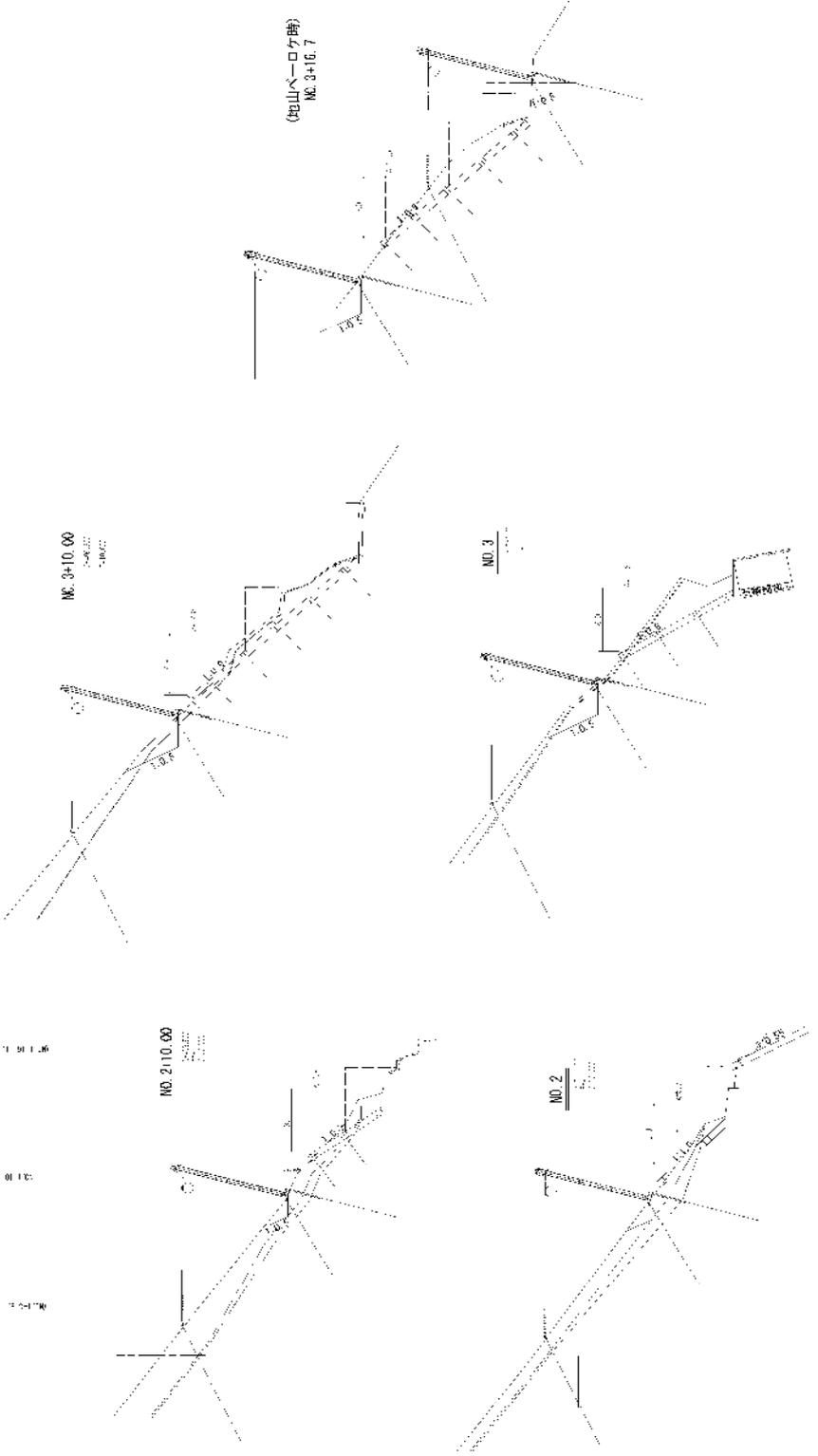


1-10M  
 01-10  
 1-10M

NO. 3+10.00  
 1-10M  
 1-10M

NO. 2+10.00  
 1-10M  
 1-10M

(知山ベローケ時)  
 NO. 3+16.7



# 参 考 图

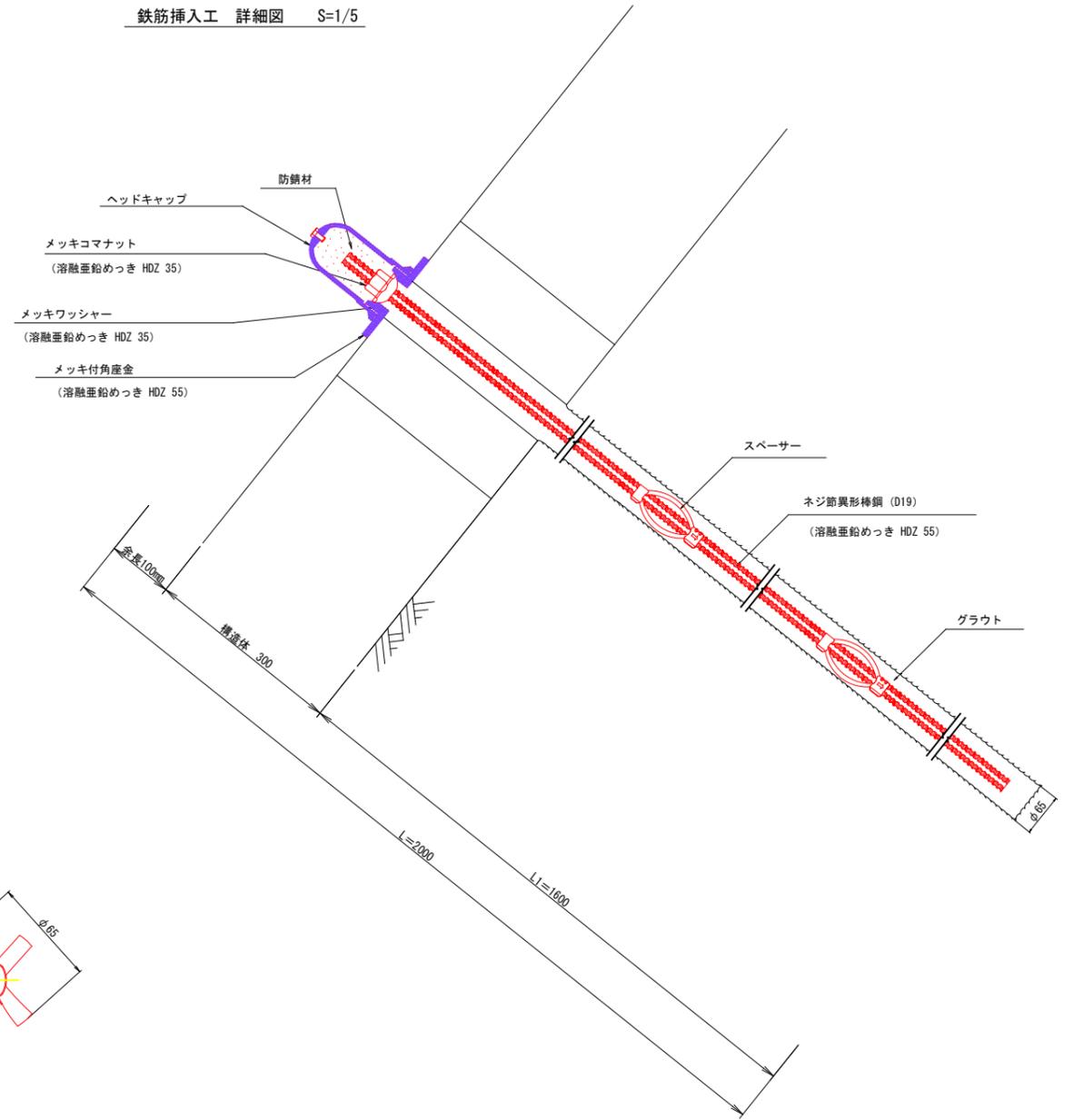
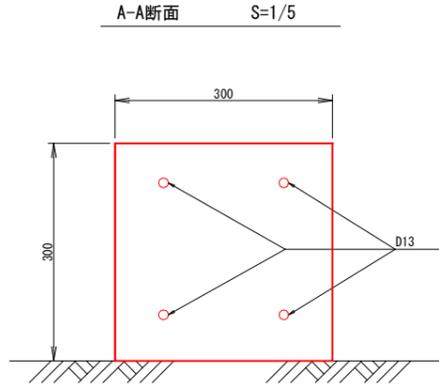
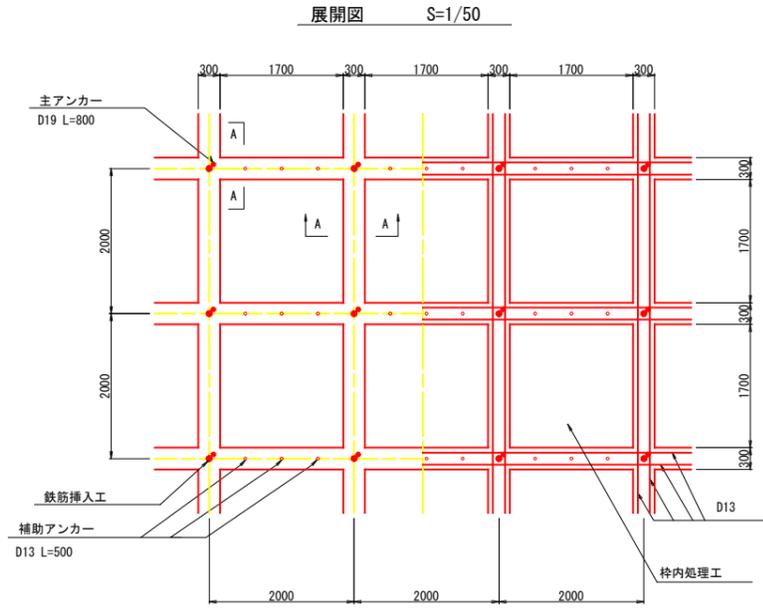
—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

図面番号	1/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種別	吹付法砕工(2)構造図	番号	1/1
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

# 吹付法砕工(2)構造図

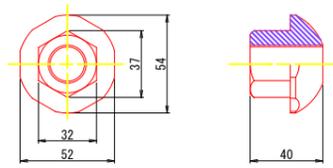
吹付法砕工(口300)標準施工図

鉄筋挿入工 詳細図 S=1/5

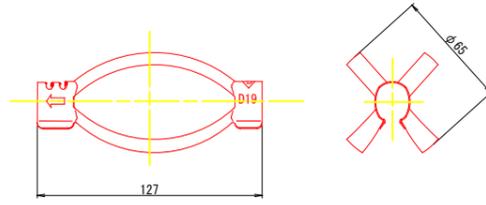


鉄筋挿入工部品図 S=1/2

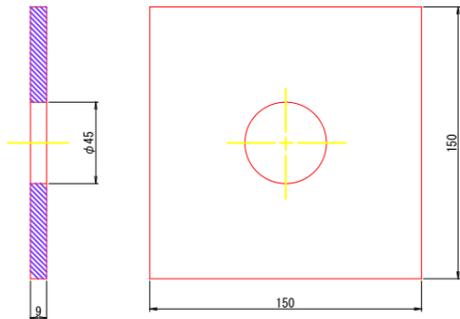
メッキコマナット (D19用)  
(溶融亜鉛めっき HDZ 35)



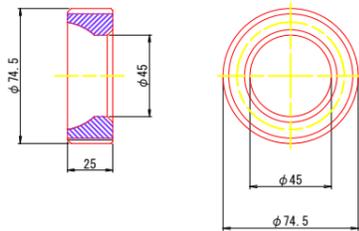
スペーサー-D19-65 (電気メッキ)



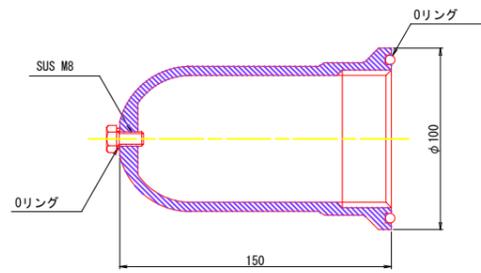
メッキ付角座金  
(溶融亜鉛めっき HDZ 55)



メッキワッシャー  
(溶融亜鉛めっき HDZ 35)



ヘッドキャップ



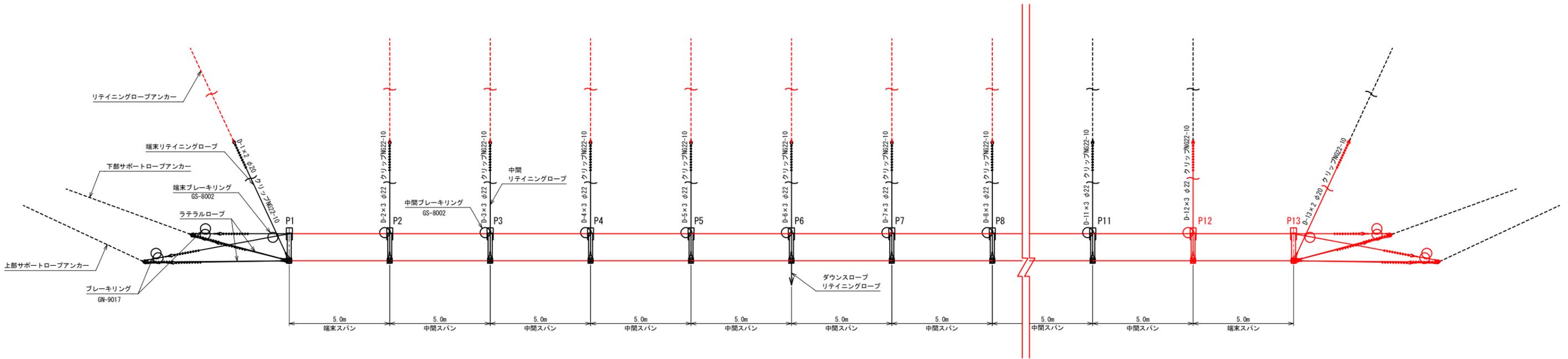
※防錆材360g入り

図面番号	2/8	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	ネット系待受工(2) 構造図	番	1/2
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

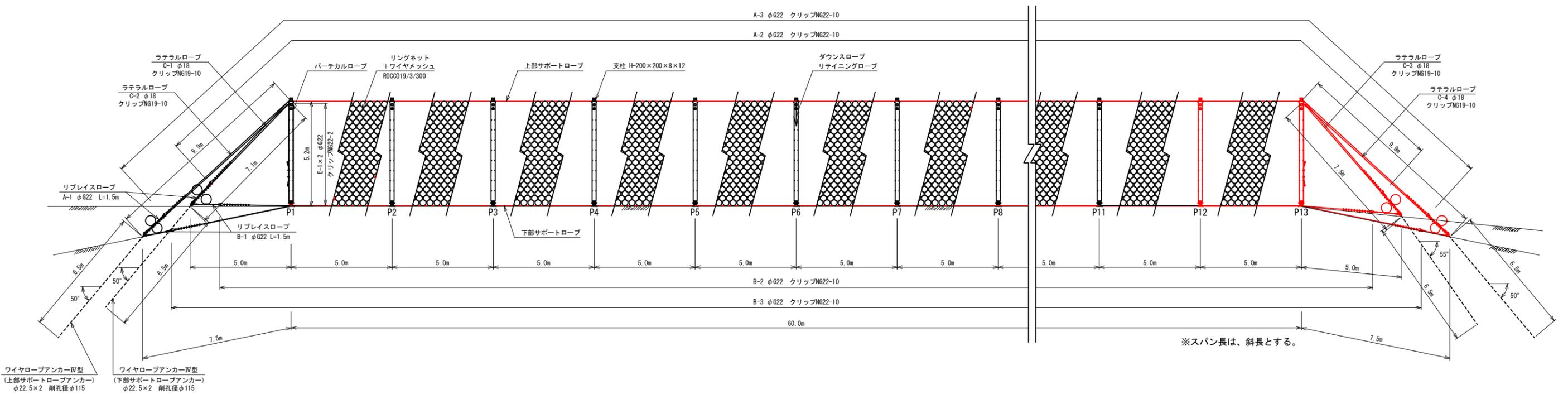
## ネット系待受工(2) 構造図(1/2)

### 延長60m

平面図 S=1/100



展開図 S=1/100

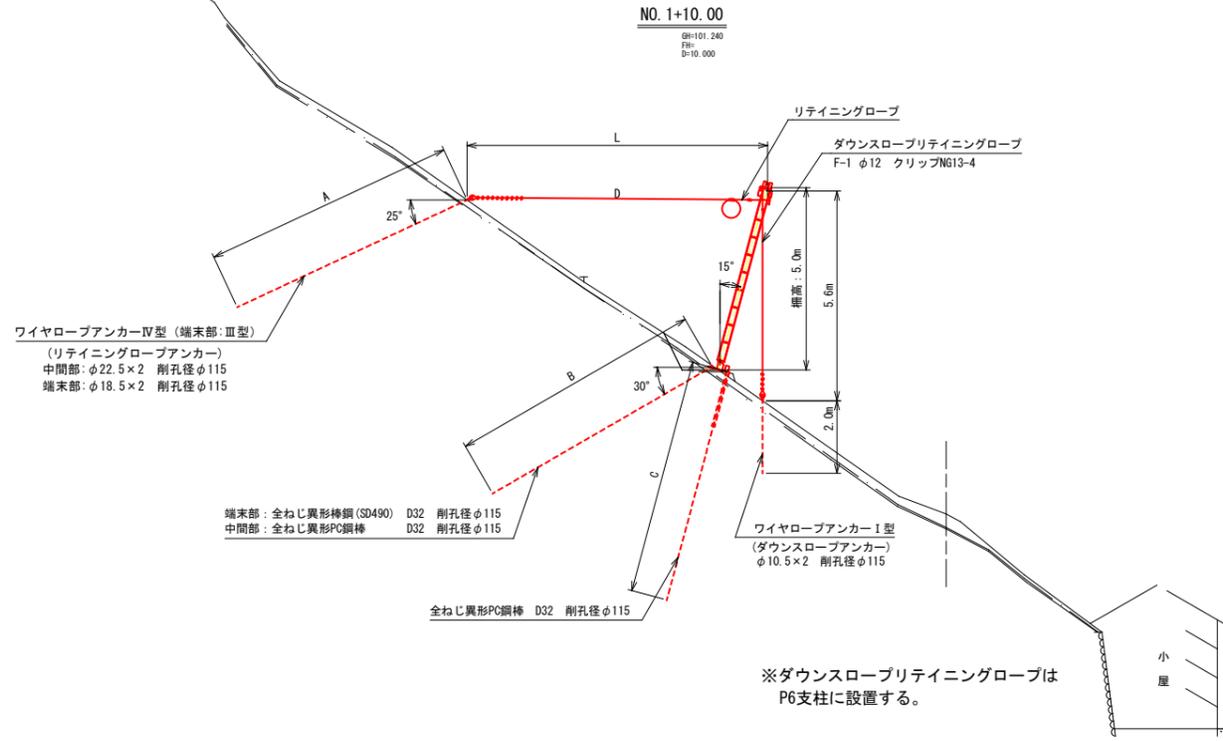


ワイヤロープアンカーⅣ型 (上部サポートロープアンカー) φ22.5×2 剛孔径φ115  
 ワイヤロープアンカーⅣ型 (下部サポートロープアンカー) φ22.5×2 剛孔径φ115

図面番号	3/8	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	ネット系待受工(2) 構造図	番	2/2
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

## ネット系待受工(2) 構造図(2/2) 延長60m

断面図 S=1/100



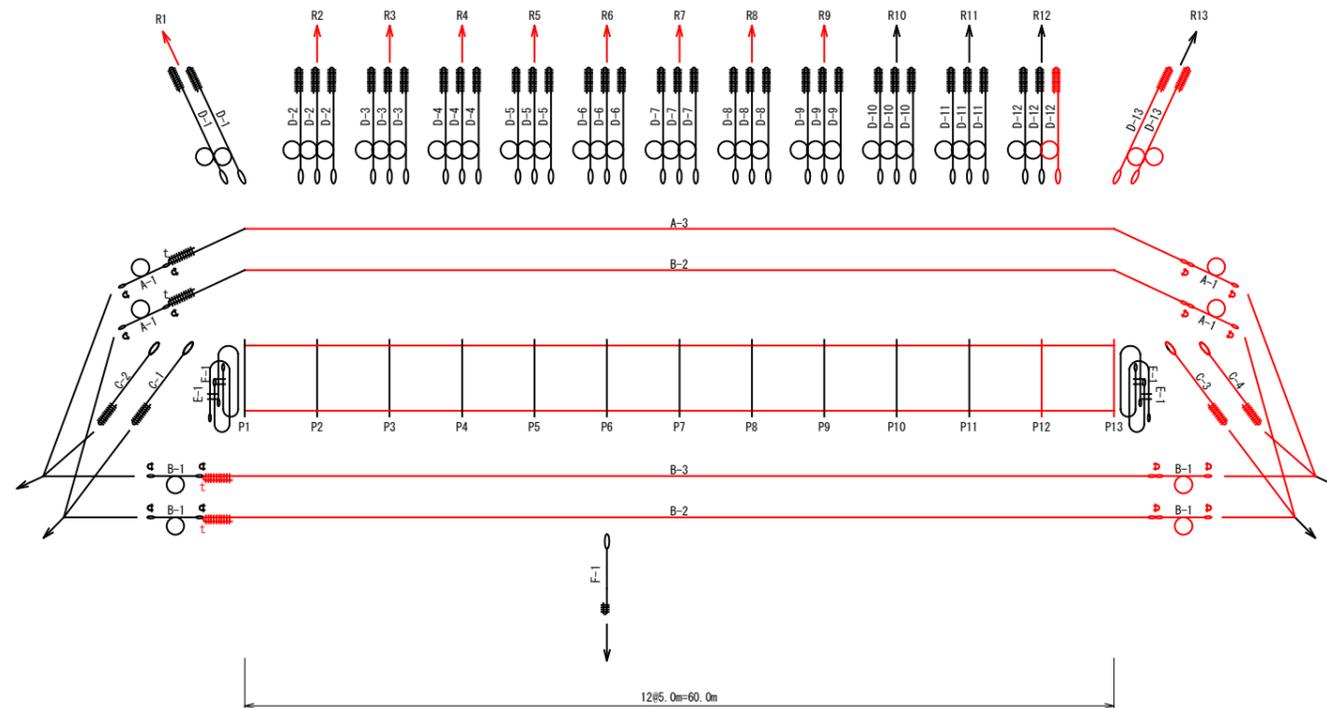
区分	リテイニングロープ長	
	L	
D-1	9.8m	
D-2	8.1m	
D-3	8.6m	
D-4	7.9m	
D-5	8.6m	
D-6	8.7m	
D-7	8.1m	
D-8	7.7m	
D-9	7.4m	
D-10	7.4m	
D-11	8.2m	
D-12	8.2m	
D-13	8.8m	

区分	リテイニングロープアンカー	
	A	
R1	4.5m	
R2~R5	6.5m	
R6, R7	7.5m	
R8~R12	6.5m	
R13	4.5m	

区分	支柱基礎反力体	
	B (山側)	C (谷側)
P1	4.0m	7.5m
P2~P4	7.0m	5.5m
P5	7.5m	5.5m
P6~P12	7.0m	5.5m
P13	4.0m	7.5m

ワイヤロープ設置図 S=NTS

DL=90.000



※1) 本図は標準図面であり、当該地の地形状況に合わせ、施工時には各ワイヤロープ長を変更する必要がある。

※2)  $\square$  はシャックル止めを示す。

※3)  $t$  はシンプル使用。

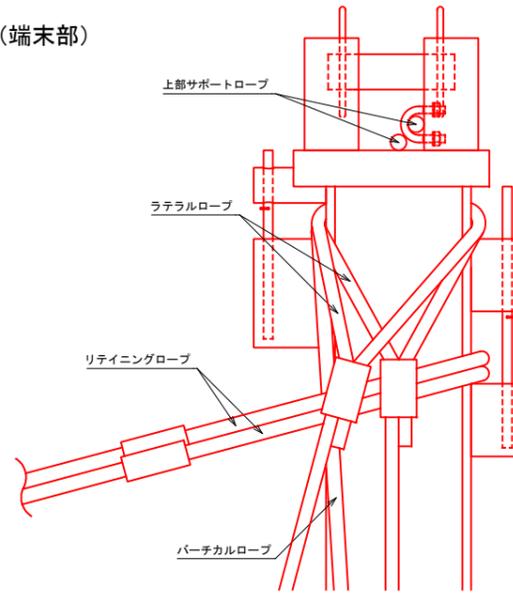
- A: 上部サポートロープ
- B: 下部サポートロープ
- C: ラテラルロープ
- D: リテイニングロープ
- E: パーチカルロープ
- F: ダウンスロープリテイニングロープ

図面番号	4/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	ネット系待受工(2)詳細図	番	1/5
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

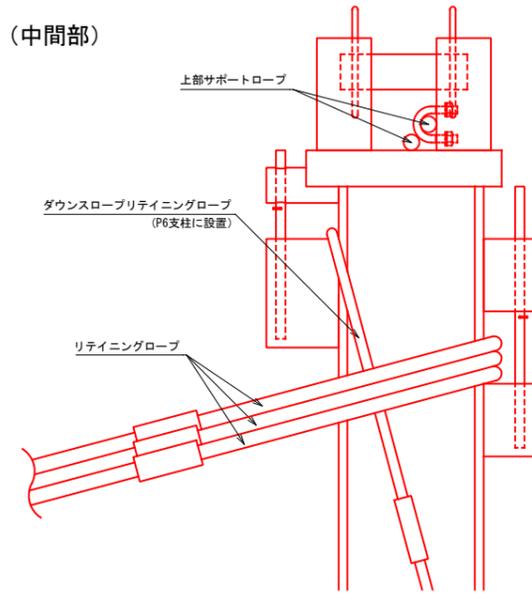
## ネット系待受工(2) 詳細図(1/5)

A部詳細図 S=1/5

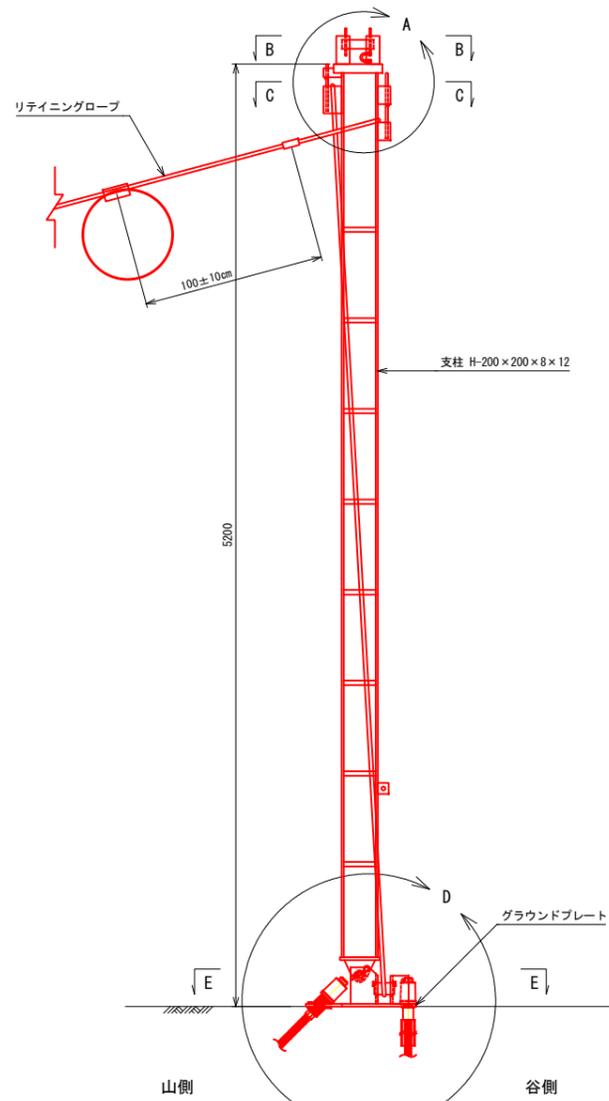
(端末部)



(中間部)

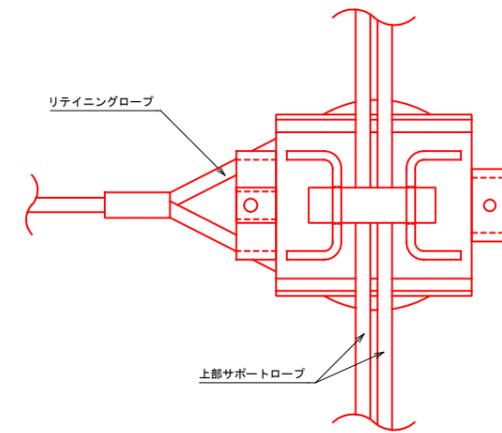
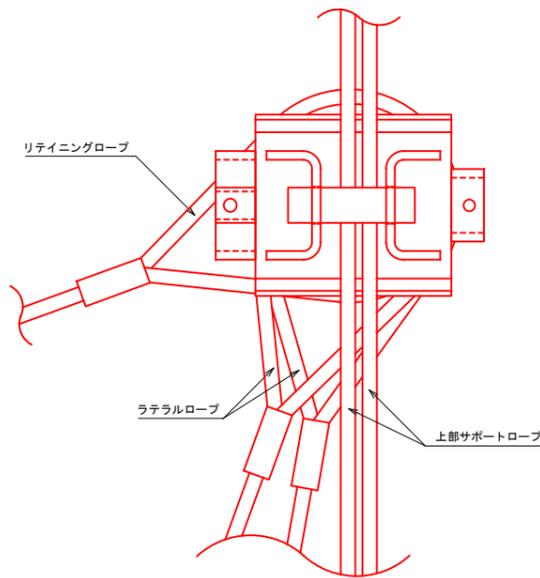


支柱全体図 S=1/20  
(H=5.0m)

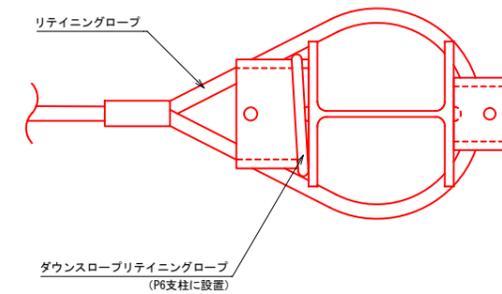
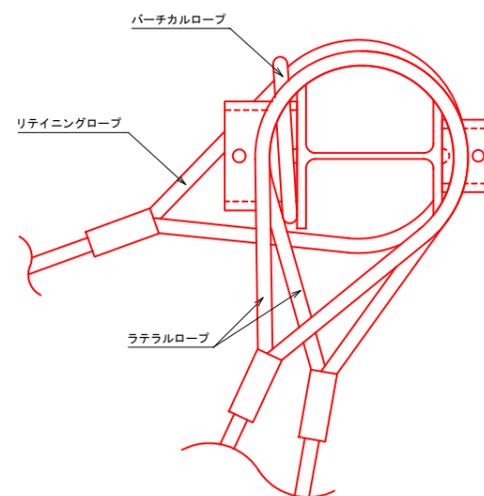


※ グラウンドプレート下部に於いては、地盤状況に応じて調整モルタルを打設する。

B-B平面図 S=1/5



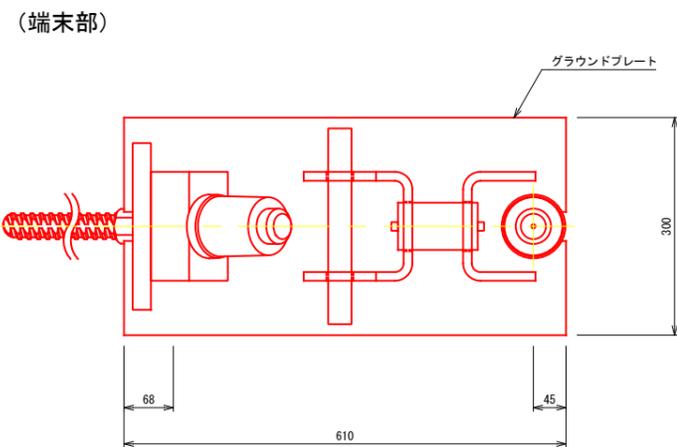
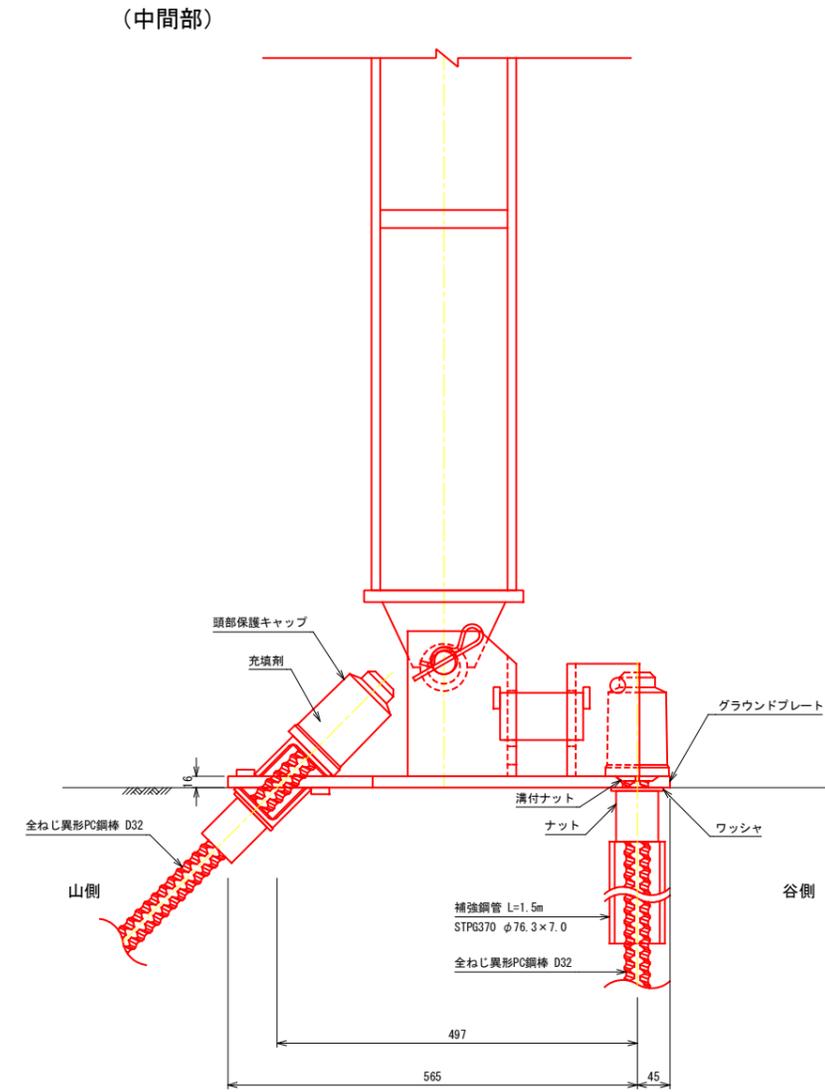
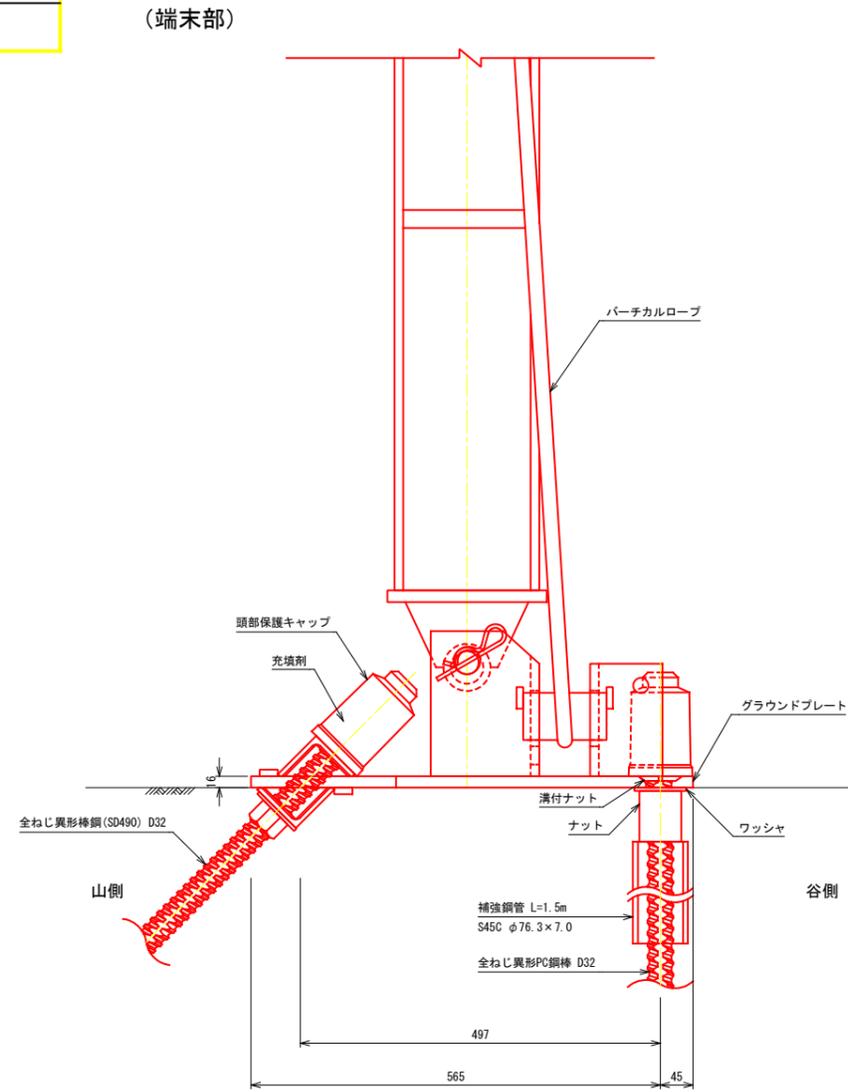
C-C平面図 S=1/5



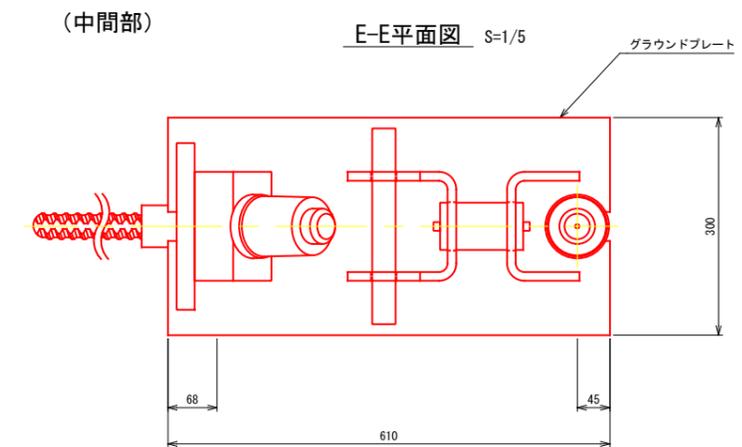
図面番号	5/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種別	ネット系待受工(2)詳細図	番	2/5
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

## ネット系待受工(2) 詳細図(2/5)

D部詳細図 S=1/5



E-E平面図 S=1/5



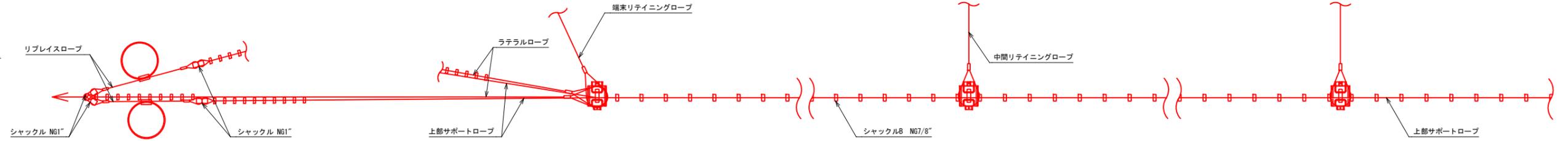
E-E平面図 S=1/5

図面番号	6/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事(深小学校上地区)		
種別	ネット系待受工(2)詳細図	番	3/5
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

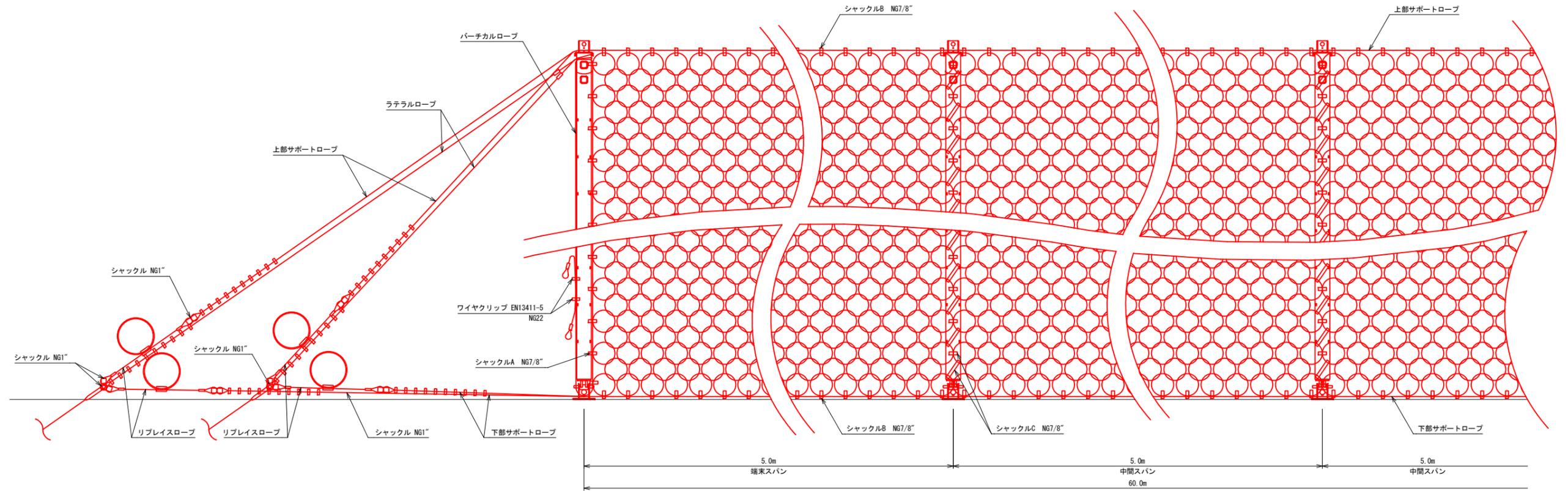
## ネット系待受工(2) 詳細図(3/5)

リングネット取付詳細図 S=1/30

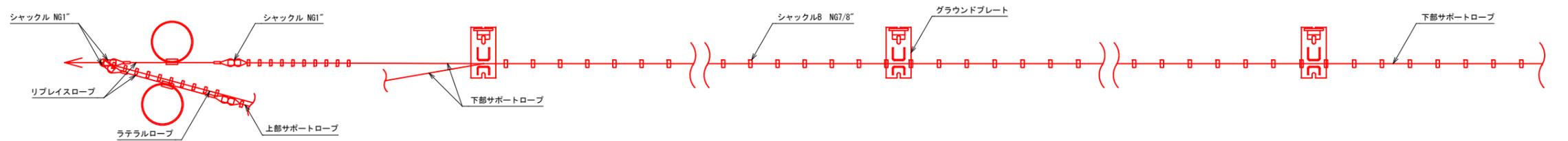
平面図  
(上部)



展開図



平面図  
(下部)



シヤックル取り付け個数 (ネット1枚当たり)

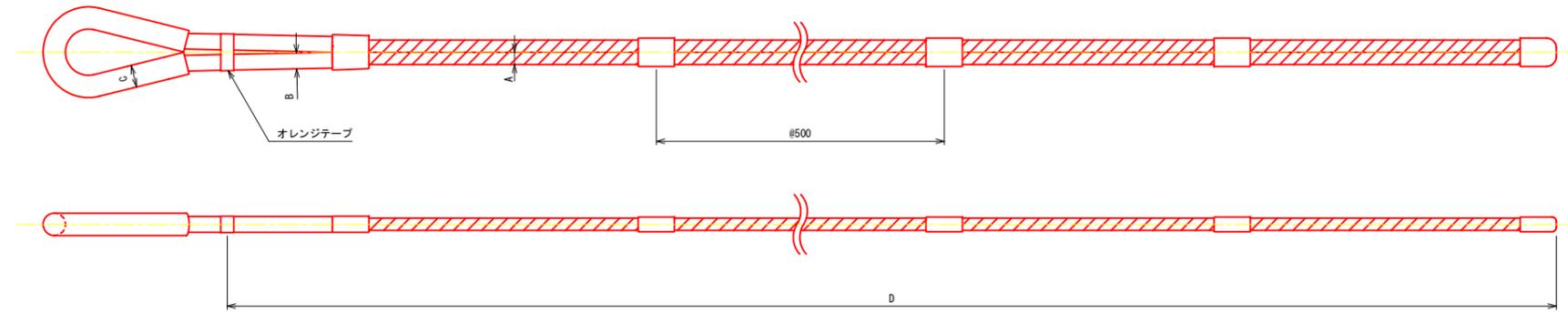
リングネット パネルサイズ (m×m)	シヤックル個数(ヶ)		
	A	B	C
縦5.0×横5.0	12	30	23

※ A: パーチカルロープ連結用  
 B: サポートロープ連結用  
 C: リングネット連結用

図面番号	7/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	ネット系待受工(2)詳細図	番	4/5
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

## ネット系待受工(2) 詳細図(4/5)

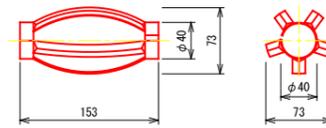
### ワイヤロープアンカー



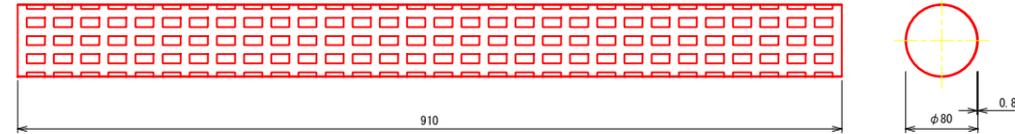
アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
上部サポートロープアンカー	P1, P13	22.5	32	42.4	6.5
下部サポートロープアンカー	P1, P13	22.5	32	42.4	6.5
ダウンスロープアンカー	P6	10.5	14	21.3	2.0

アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
端部リテーニングロープアンカー	R1, R13	18.5	25	33.7	4.5
	R2~R5				6.5
中間部リテーニングロープアンカー	R6, R7	22.5	32	42.4	7.5
	R8~R12				6.5

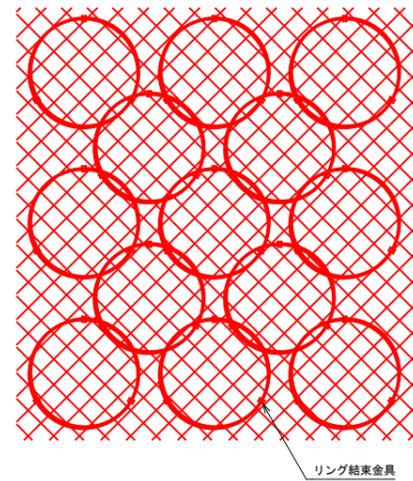
### スペーサー S=1/4



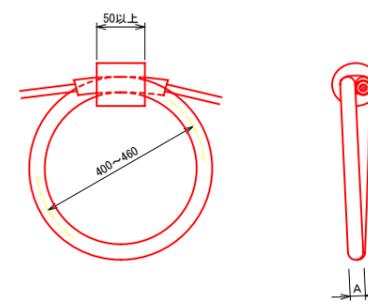
### 孔壁保護管 S=1/4



### リングネット・ワイヤメッシュ S=1/10



### ブレーキリング S=1/10



ブレーキリング形式	対応ワイヤロープ径	A (mm)
GS-8002	φ20~22	42.7
GN-9017	φG22	42.4

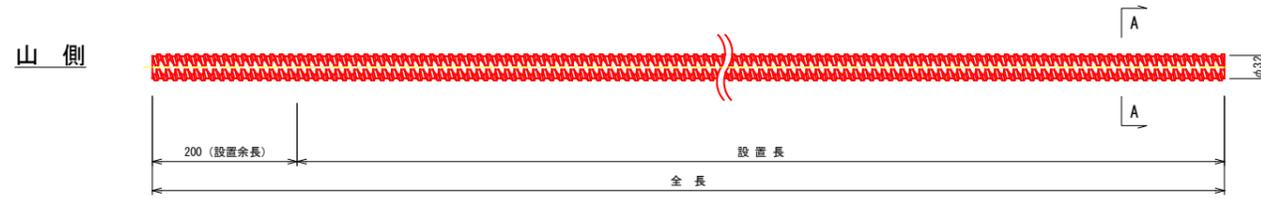
ネット形式	ROCCO 19/3/300
-------	----------------

ワイヤメッシュφ2.4×50  
 ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm (接続箇所数: 8ヶ所/m<sup>2</sup>)  
 凡例 ネット形式  
 ROCCO 19 / 3 / 300  
 径  
 線径  
 巻数

図面番号	8/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事 (深小学校上地区)		
種別	ネット系待受工(2)詳細図	番	5/5
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
<b>三原市</b>			

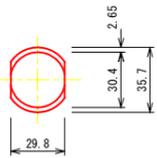
## ネット系待受工(2) 詳細図(5/5)

全ねじ異形棒鋼 (SD490) S=1/5

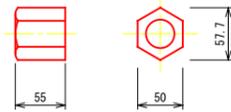


区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)
端末支柱部 P1, P13	0.2	4.0	4.2

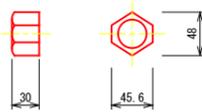
A-A断面図 S=1/2



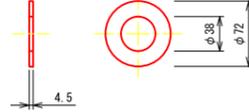
ナット (上部) S=1/4  
(亜鉛めっき品)



ナット (下部) S=1/4  
(亜鉛めっき品)



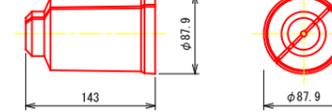
ワッシャ S=1/4



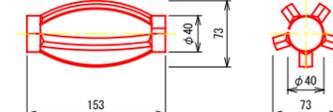
球面ワッシャ S=1/4  
(亜鉛めっき品)  
谷側



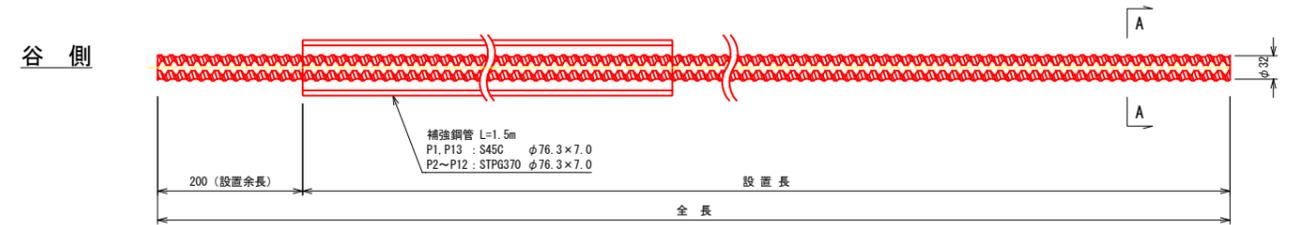
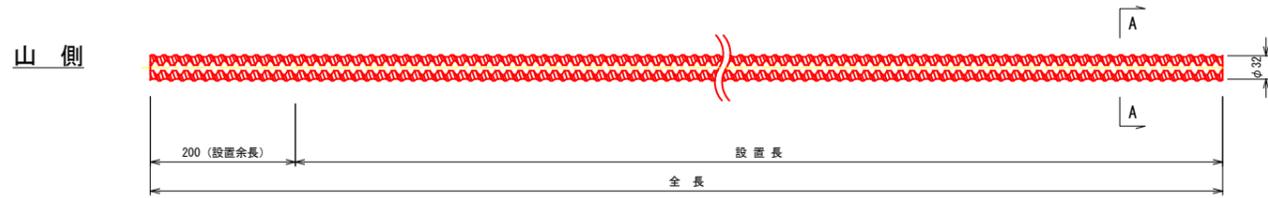
頭部保護キャップ S=1/4



スペーサー S=1/4



全ねじ異形PC鋼棒 S=1/5

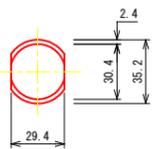


区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)	
中間支柱部	P2~P4	0.2	7.0	7.2
	P5	0.2	7.5	7.7
	P6~P12	0.2	7.0	7.2

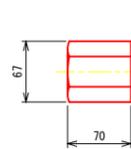
区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)
端末支柱部 P1, P13	0.2	7.5	7.7

区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)
中間支柱部 P2~P12	0.2	5.5	5.7

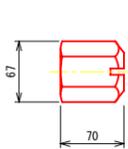
A-A断面図 S=1/2



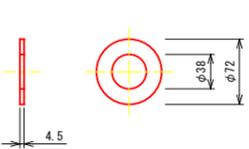
ナット S=1/4



溝付きナット S=1/4



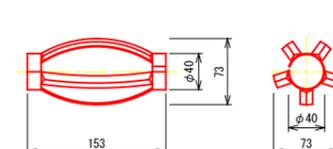
ワッシャ S=1/4



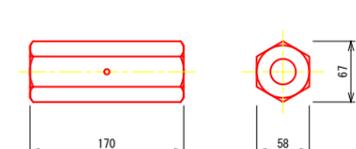
頭部保護キャップ S=1/4



スペーサー S=1/4



カプラー S=1/4



# 位置図

工事箇所

